HuTime マニュアル

Version 2.0.11

2016/3/22

Copyright (C) 2010 The Humanities GIS Research Group.

Version	Release Date	概要
1.0.0	2008/02/28	初版
1.0.1	2008/03/31	データセット名前変更、データセット削除追加
1.0.1	2008/03/31	レコード詳細表示修正
1.0.1	2008/03/31	XML(TMM)インポート機能追加
1.0.1	2008/03/31	インポートエラー表示機能追加
1.0.1	2008/03/31	構成の変更
1.1.0	2009/03/23	プロジェクトビューのデータセットアイコン変更
1.1.0	2009/03/23	時間カーソルの表示形式変更
1.1.0	2009/03/23	図·表番号統一
1.2.0	2009/03/23	表示言語変更機能の記述
1.2.0	2009/03/23	GTS、GTM ファイルへの対応を記述
1.3.0	2009/03/30	メニュー構成の修正
2.0.0	2009/10/30	利用マニュアルの整備として内容確認
2.0.0	2009/10/30	GT-Map との用語の統一
2.0.1	2010/01/14	各レイヤ設定画面の変更
2.0.1	2010/02/12	インストーラに関する記述を追加
2.0.1	2010/03/24	レコード端点の開閉表示の設定を追加
2.0.2	2010/07/15	時間カーソルを使った範囲指定でドラッグ&ドロップと記述してい
		る箇所をドラッグに修正。
2.0.2	2010/07/15	時間カーソルを使った範囲指定に選択範囲外をクリックして選択
		解除を追記。
2.0.2	2010/07/15	時間幅の測定に複数の選択範囲がある場合の動作を追記。
2.0.2	2010/07/15	簡易表示の動作条件を追記。
2.0.2	2010/07/15	高さ調整について高さの単位を追記し、単位を出力したダイアロ
		グボックスに画像を変更。
2.0.2	2010/07/16	設定ダイアログの画像をフォントサイズやシンボルサイズ等に単
		位が出力されている画像に変更。
2.0.2	2010/07/16	レコードデータに関する記述を追加。
2.0.3	2012/03/10	KMLインポート機能に関する記述を追加。
2.0.3	2012/03/10	KML 出力機能に関する記述を追加。
2.0.3	2012/03/10	レイヤ右クリック機能の GTM・XML 出力に関する記述を追加。
2.0.4	2012/04/16	複数グラフ表示レイヤの記述を追加。
2.0.5	2012/10/31	ファイル入出力時のファイル選択画面の変更の伴う修正
		メニュー構成変更に伴う修正
2.0.6	2013/3/11	新規作成に関する記述を追加

改定履歴

Version	Release Date	概要
2.0.6	2013/3/11	プロジェクトを開く機能に関する記述を追加
2.0.6	2013/3/11	レイヤのインポートに関する記述を追加
2.0.6	2013/3/11	プロジェクトの上書き保存に関する記述を追加
2.0.6	2013/3/11	プロジェクトに名前を付けて保存する機能に関する記述を追加
2.0.6	2013/3/11	レイヤの上書き保存に関する記述を追加
2.0.6	2013/3/11	全体を表示する機能に関する記述を追加
2.0.6	2013/4/10	誤字、脱字の修正
2.0.7	2014/1/15	年表レイヤのグループ化対応追記。幅の小さいプロットの丸表示
		について追記。
2.0.7	2014/1/15	暦表示(幅あり)レイヤのグループ化対応追記
2.0.7	2014/1/15	詳細表示時のレコード内の URL のリンク化について追記
2.0.8	2014/3/25	minVisibleTResolution 属性及び maxVisibleTResolution 属
		性に指定できる値に数値と指数表記を追加
2.0.8	2014/3/25	minVisibleTResolution 属性及び maxVisibleTResolution 属
		性に指定できる値の制限を追加
2.0.9	2014/6/20	リモートファイル保存時のダイアログ表示について追加
2.0.9	2014/6/20	設定にリモートファイル保存動作を追加
2.0.10	2015/3/18	レイヤのメタデータ表示について追加
2.0.10	2015/3/18	GTM の metadata 要素と表示について追加
2.0.10	2015/3/18	レコード XML の item 要素と表示について追加
2.0.11	2016/3/22	RDF 関係の記述を追加

本書に記載したプログラム名、システム名、CPUなどは一般に各社の登録商標です。本文中ではTM、 ®マークは明記していません。

目次

1.	動	作環境1
2.	イン	ノストール2
3.	ア:	ンインストール
4.	起	動方法4
5.	画	面構成5
6.	開	<6
6	.1.	ワークスペースを開く
6	.2.	ワークスペースを新規作成10
6	.3.	レイヤを開く12
7.	保	存14
7	.1.	プロジェクトの保存14
7	.2.	プロジェクトに名前をつけて保存15
8.	表	示時間の変更17
8	.1.	タイムスライダ操作
8	.2.	操作可能時間の変更
8	.3.	リセット
9.	レコ	コードの詳細表示19
10.		レイヤの表示順序変更
11.		レイヤの表示/非表示22
12.		レイヤの高さ変更
13.		レイヤの削除
14.		レイヤ名変更
15.		レイヤの保存
1	5.1.	保存
1	5.2.	名前を付けて保存
16.		時間カーソル機能
1	6.1.	時間カーソルの表示

時間カーソル上のデータ表示	
時間カーソルを用いた範囲指定	
範囲指定の追加	
ヤ上での基本機能	34
レイヤのコンテキストメニュー	
時間目盛表示	
データ出力	
画像ファイル出力	
画像をコピー	
RDF ファイルの出力	
時間幅の測定	
. 計測方法	
. 計測結果の表示	
. 計測結果の終了	
簡易表示	
レイヤの高さ変更	
メタデータの表示	
ジェクト及びレイヤの全体表示	50
プロジェクト全体を表示	
レイヤ全体を表示	
ロイヤ上での機能	54
数値レイヤのコンテキストメニュー	
数值計測	
. 指定時間範囲内の最大値、最小値及び平均値表示	55
補助線表示/非表示	
グラフ目盛	60
. 全データ(初期値)の表示例	61
. 時間範囲内の表示例	
. 任意入力	
グラフ変更機能	
2	67
設定画面の表示	
一般設定項目	
. ブラウザ設定	
. ブラウザ設定 . プラグインの設定	
	時間カーソルとのデータ表示

20.3.	年表表示での端点の開閉表示	71
20.4.	TMS,TMM の保存警告表示	73
20.5.	リモートファイル保存動作	73
20.6.	レイヤ既定値設定項目	75
21. デー	タ表示レイヤ	76
21.1.	年表表示レイヤ	
21.1.1	表示画面	
21.1.2	設定項目	
21.2.	点グラフ表示レイヤ	
21.2.1	表示画面	
21.2.2	. 設定項目	
21.3.	線グラフ表示レイヤ	
21.3.1	. 表示画面	81
21.3.2	. 設定項目	81
21.4.	棒グラフ表示レイヤ	83
21.4.1	. 表示画面	83
21.4.2	. 設定項目	83
21.5.	マスク表示レイヤ	
21.5.1	. 表示画面	
21.5.2	. 設定項目	85
21.6.	暦表示レイヤ	86
21.6.1	. 表示画面	86
21.6.2	. 設定項目	86
21.7.	暦表示(幅あり)レイヤ	88
21.7.1	. 表示画面	88
21.7.2	. 設定項目	88
22. 検索		90
22.1.	データ検索	
22.1.1	. 検索条件の指定	90
22.1.2	検索結果	
23. マス	ク操作	95
23.1.	2つのマスクの論理演算	
23.1.1	. マスク解析項目の選択	
23.1.2	. マスク解析条件の選択	
23.1.3	解析結果	
23.2.	マスクによるレコード抽出	
23.2.1	. マスク解析項目の選択	

23.2.2	. マスク解析条件の選択	
23.2.3	解析結果	
24. 印刷	/画像エクスポート	99
24.1.	印刷の選択	
24.2.	印刷出力条件の選択	
24.2.1	. プリンタへの出力	100
24.3.	画像エクスポートの選択	101
24.4.	画像エクスポート	102
24.4.1	. クリップボードへの出力	102
24.4.2	. ファイルへの出力	
24.5.	画像プレビュー	103
25. デー	·タインポート	105
25.1.	CSV データ	105
25.1.1	起動	105
25.1.2	. データセット名	106
25.1.3	. 表示レイヤタイプ	106
25.1.4	. 文字コード	106
25.1.5	. 読み込み	106
25.1.6	. エラーチェック	108
25.2.	KML データ	108
25.3.	エラー通知	110
26. CSV	<i>てファイルフォーマット</i>	111
26.1.	カラム名について	111
26.2.	各レコードについて	111
27. KM	L データフォーマット	112
28. レコ	ードデータフォーマット	113
29. 付舅	t	115
29.1.	LINUX 上の JAVA の言語環境設定	115
29.1.1	. truetype フォントの検索	115
29.1.2	. シンボリックリンクの作成	115
29.2.	GTM ファイルの METADA 要素の内容とメタデータ表示での出力	116
29.3.	レコード XML の ITEM 要素の内容と詳細表示での出力	117

1. 動作環境

本システムの動作環境は『表 1-1 動作環境』の通りです。

表 1-1 動作環境

項番	項目	内容
1	OC	Windows 2000, Windows XP (SP2) , Windows Vista, Linux (2.4)
	05	相当もしくはそれ以降のバージョン
2	ブラウザ	Internet Explorer 6 以降, Mozilla Firefox 2.0 相当もしくはそれ以
		降のバージョン
3	Java 実行環境	1.5 以降のバージョン

2. インストール

所定のサイトから hutime.zip ファイルをダウンロードして下さい。 ダウンロードした hutime.zip を解凍して下さい。

利用 OS が Windows の場合はインストーラを使用してインストールすることもできます。

所定のサイトから hutime.msi をダウンロードして下さい。

ダウンロードした hutime.msi をダブルクリックして下さい。ウイザードに従って hutime をインストールできます。

インストーラはインストール中にシステム上で Java 実行環境を利用できるか検査します。

Java 実行環境が利用できない場合、インストーラはインストールを中止します。

3. アンインストール

hutime ディレクトリを削除して下さい。

利用 OS が Windows の場合、インストーラを使用してインストールした hutime は、コントロールパネルから起動できるソフトウエアの管理画面でアンインストールすることができます。

4. 起動方法

HuTime は、hutime/bin/hutime.cmd をダブルクリックすることによって起動され、『図 4-1 HuTime 画面』が初期画面として表示されます。

利用 OS が Windows でインストーラを使用してアプリケーションをインストールした場合は、スタートメニ ューのプログラムに表示される hutime を選択することでアプリケーションを起動できます。

起動直後は、空のプロジェクトが作成されています。

S HuTime : 201303060144322	54.gts										• <mark>•</mark>	3
ファイル 解析 ヘルプ												
全て選択するしない	1											^
🗹 퉲 New Project												
												-
	Select	ed Rang	je: -1-1	01-01T0	0:00:00	Z ~ 20	13-03-0	6Т00:00	0:00Z			
		200	400	6Q0	800	1000	1200	1400	1600	1800	2013	
		200	400	600	800	1000	1200	1400	1600	1800	2013	
	▲ -1					リセット	•			4 2013	Þ	

図 4-1 HuTime 画面

HuTime は、『表 5-1 画面機能』及び



図 5-1 画面構成』のように大きく4つの画面機能で構成されています。



図 5-1 画面構成

表 5-1 画面機能

項番	機能	説明
(a)	メニューバー	データの読み込み及び書き込み、検索、設定変更などを行えます。
(b)	プロジェクトビュー	読み込まれたプロジェクトとデータセットを階層表示します。
(c)	データビュー	データセットを指定の描画形式で表示します。
(d)	タイムスライダ	表示時間範囲をスライダにより操作します。

6. 開く

6.1. ワークスペースを開く

メニューバーから「ファイル」→「ワークスペースを開く...」を選択します。『図 6-1 「ワークスペースを開 く...」の選択』を参照して下さい。

ファ	イル 解析 ヘルプ	
	新規作成	• 7 [
	ワークスペースを開く	
	保存	
	名前を付けて保存…	
	開く	•
	インポート	
	画像エクスポート…	
	ED哈!	
	設定	
	終了	

図 6-1 「ワークスペースを開く…」の選択

ファイル選択ダイアログで表示したいプロジェクトファイル(拡張子:tms又は、gts)を選択し、マウスで「開く」ボタンをクリックします。

 ● 開 			×
参照:	퉬 sample2	▼]	🏂 🛄 -
した 最近使った項 目	sample.tms		
デスクトップ			
マイ ドキュメ ント			
(人) コンピュー ター			
	ファイル名:		開く(<u>O</u>)
	ファイルのタイブ:	GTS / ECAI Project file	▼ 取消

図 6-2 プロジェクトファイルの選択』を参照して下さい。

🌏 開く				X
参照:	퉬 sample2	•	彦 🖽 -	
した 最近使った項 目	sample.tms			
デスクトップ				
マイ ドキュメ ント				
	ファイル名:		開く((2)
ネットワーク	ファイルのタイプ:	GTS / ECAI Project file	▼ 取消	

図 6-2 プロジェクトファイルの選択

選択したプロジェクトファイルの内容から『図 6-3 データ表示画面』のように、グラフや年表が表示されます。



図 6-3 データ表示画面

ファイルメニューを右クリックして、「開く」→「プロジェクト」を選択すると、最上位のプロジェクトの下にプ ロジェクトが追加されて開きます。『図 6-4 プロジェクトを開く』を参照してください。

ファイル 解析 ヘルプ	
新規作成 ワークスペースを開く 保存 名前を付けて保存	・ サンプル1
開く	・ レイヤ
インポート	プロジェクト
画像エクスポート… 印刷…	0.8
設定	サンプル2
終了	

図 6-4 プロジェクトを開く

ファイル選択ダイアログで表示したいプロジェクトファイル(拡張子:tms又は、gts)を選択し、マウスで「開く」ボタンをクリックします。『図 6-5 プロジェクトファイルの選択2』を参照して下さい。

			×
参照	🌗 ja		党
最近使った項 目	🗋 サンプル.gts		
デスクトップ			
マイ ドキュメ ント			
() コンピュー ター			
	 ファイル名:		開く (<u>O</u>)
ネットワーク	ファイルのタイプ:	GTS / ECAI Project file	取消

図 6-5 プロジェクトファイルの選択2

既存のプロジェクトの下に、別のプロジェクトが挿入されます。



図 6-6 プロジェクトの挿入

既存のプロジェクトを右クリックして「開く」→「プロジェクト」を選択すると、右クリックしたプロジェクトの下 にプロジェクトが追加されて開きます。『図 6-7 プロジェクトを開く2』を参照してください。

ファイル 解析 ヘルブ		
全て選択(する)しな	u) , サンプル1	
🖃 📝 🕌 レイヤーサンブル	1.7	
📝 💎 サンプル 1	1.5	
📝 👬 サンプル2	1.4	
🔽 素 サンプル3	1.2	9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
🗄 🗹 🕌 サンプルデー		
	名前変更	ି ଷ୍ମାର 🎖 ବିକୃତ୍ତି
	削除	<u> </u>
	プロジェクト全体を表示	
	新規作成	•
	開く	レイヤ
	インポート	リージェクト
	保存	
	名前を付けて保存…	
	0.8	

図 6-7 プロジェクトを開く2

既存のプロジェクトの下に、さらにプロジェクトが挿入されます。



図 6-8 プロジェクトの挿入2

6.2. ワークスペースを新規作成

メニューバーから「ファイル」→「新規作成」→「ワークスペース」を選択します。『図 6-9 「ワークスペース」 の選択』を参照して下さい。



図 6-9 「ワークスペース」の選択

空の状態の新規状態のプロジェクトが作成されます。

S HuTime : New Project/New F	Project_201	30411010	059643.gts								
ファイル 解析 ヘルプ											
Huffine: New Project/New F ファイル 解析 ヘルプ 全て選択 する しない ▽ ▲ New Project		30411010	JJ9043.QL8								
	Selected -1	Range: -1 200 200	-01-01T00:0 400 400	10:00Z ~ 20 6Q0 6Q0	13-04-11TC 800 800	10:00:00 <i>Z</i> 1000 1000	1200 1200	1400 1400	16 <mark>00 1600</mark>	1800 1800	2013 20 <mark>1</mark> 3
	 ┩-1 	Þ				リセット				◀ 201	13

図 6-10 新規のプロジェクト

既に開いているプロジェクトがある場合に、ファイルメニューから新規作成を行うと、開く前に下記の警告 ダイアログが表示されます。



図 6-11 プロジェクト新規作成時の警告ダイアログ

既存のプロジェクトを右クリックして、「新規作成」→「プロジェクト」を選択すると、既存のプロジェクトの下 にプロジェクトが作成されます。『図 6-12 プロジェクトの新規作成2』を参照してください。



図 6-12 プロジェクトの新規作成2

既存のプロジェクトの下に、新たにプロジェクトが追加されます。



図 6-13 プロジェクトの新規作成3

6.3. レイヤを開く

プロジェクトを右クリックして「開く」→「レイヤ...」を選択します。『図 6-14 「レイヤ...」の選択』を参照して下さい。

ファイル 解析 ヘルブ		
全て選択しするし	.ない サンプル1	
・ 🖃 🔛 レイヤーサンプ 	a 1.7 名前変更	
- ▽ サンプル2 - ▽ サンプル3	プロジェクト全体を表示	
	新規作成	· 1489 184 184 18
	開く	 レイヤ ・ ・ レイヤ ・ <
	インポート	- プロジェクト 🔷
	保存	
	名前を付けて保存…	
	エクスポート	•
	1.3	• •

図 6-14 「レイヤ…」の選択

ファイル選択ダイアログで開きたいレイヤトファイル(拡張子:gtm 又は、tmm)を選択し、マウスで「開く」ボタンをクリックします。『図 6-15 レイヤファイルの選択』を参照して下さい。

♦ 開<		×
参照:	[ja 🗸 🗸	ø 🚥 -
最近使った項 目 デスクトップ	 □ アメリカ大統領.gtm □ 人物.gtm □ 世界のできごと.gtm □ 世界人口.gtm □ 天皇.gtm □ 日本のできごと.gtm □ 和暦.gtm 	
マイドキュメ ント (人) コンピュー ター		
(ネットワーク	レ ファイル名: ファイルのタイブ: gtm	■ 開く(<u>Q</u>) ▼ 取消

図 6-15 レイヤファイルの選択

既存のレイヤの下に、指定されたレイヤが追加されます。



図 6-16 レイヤの追加



7.1. プロジェクトの保存

保存実施は『図 7-1 プロジェクトの保存』のように、メニューバーの「ファイル」→「保存」を選択します。

	ファ	イル 解析 ヘルプ			
I		新規作成	F	ו	Ŧ
l		ワークスペースを開く			1
l		保存			
l		名前を付けて保存…			
l		開く	Þ		1
l		インポート	۲		
l		画像エクスポート…			Ĺ
l		ED周1			
l		設定			Ħ
		終了			1
ľ					

図 7-1 プロジェクトの保存

また、プロジェクトを右クリックし、「保存」を選択することにより、同様に保存することができます。

ファイル 解析 ヘルプ	
全て選択(する)(しない サンプル1
🖃 🔽 🕌 レイヤーサン	ブル 1.7
🔽 💀 サンプパ	名前変更
🔽 📫 サンプ/	ドロバークトム/ナギキニ
🏧 🔽 語 サンプル	フロンエンド生体包蔵示
	新規作成 🕨
	開く
	インポート ・
	保存
	名前を付けて保存…
	エクスポート ト

図 7-2 プロジェクトの保存2

開いているプロジェクト又はデータセットにリモートに存在するファイルが含まれている場合は、ローカルシステム上に保存することを報せるダイアログが表示されます。

「リモートファイルを常にローカルに保存します。」をチェックして「はい」を押すと次回からこのダイアログは表示されずにリモートファイルがローカルに保存されるようになります。



図 7-3 保存確認ダイアログ

7.2. プロジェクトに名前をつけて保存

名前を付けて保存実施は『図 7-4 名前を付けて保存』のように、メニューバーの「ファイル」→「名前を 付けて保存」を選択します。

ファ	イル 解析 ヘルブ	
	新規作成	• T
	ワークスペースを開く…	ЪI
	保存	
	名前を付けて保存…	
	開く	•
	インポート	•
1	画像エクスボート…	
	印刷	
	設定	
	終了	

図 7-4 名前を付けて保存

ファイル保存ダイアログで、保存するファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックします。『図 7-5 プロ ジェクトの保存』を参照してください。

🔇 保存				
保存:	🌗 sample		- 🦻	≫
最近使った項 目				
デスクトップ				
マイ ドキュメ ント				
(人) コンピュー ター				
(ネットワーク	ー ファイル名: ファイルのタイプ:	sample.gts		保存(<u>S</u>)
		_yıs		42/8

図 7-5 プロジェクトの保存

ファイル保存は、プロジェクト名を右クリックし、「名前を付けて保存」を選択しても同様に行えます。『図 7-6 名前を付けて保存2』を参照してください。

ファイル 解析 ヘルプ	
全て選択(する)し	ない サンブル1
🖃 🔽 🕌 レイヤーサンプル	L 1.7
🔽 🔨 サンプル	名前変更
🔽 💀 サンプル 🔽 🏂 サンプル	ブロジェクト全体を表示
	新規作成 🕨
	開く
	インポート ト
	保存
	名前を付けて保存…
	エクスポート ・

図 7-6 名前を付けて保存2

TMS ファイルが読み込まれている場合、システムの設定で「TMS,TMM を GTS,GMM で保存する警告を表示しない」が選択されていない場合は、保存の前に警告のダイアログボックスが表示されます。 『図 7-7 警告ダイアログ』を参照してください。

保存	
	読み込み元のTMSファイルはGTSファイルとして同じフォルダに保存されます。
	ОК

図 7-7 警告ダイアログ

8. 表示時間の変更

8.1. タイムスライダ操作

タイムスライダを操作することで、レイヤに表示される時間範囲を変更できます。



図 8-1 タイムスライダ操作(表示時間幅を狭くし、同じ時間幅で表示時間範囲を過去に移動)

8.2. 操作可能時間の変更

操作可能時間は『図 8-2 操作可能時間変更機能』の赤丸で示す、テキストボックスへの値を入力する

か、マウスで・ボタン又は・ボタンをクリックすることによって行えます。

■ボタンをクリックすると可能時間を過去側へ変更します。

▶ボタンをクリックすると可能時間を未来側へ変更します。

テキストボックスには、yyyy-mm-ddのように年月日をハイフン(・)で接続した形式の文字列又は年のみ を入力します。入力後、キーボードの「Enter」キーを押下すると入力した値がタイムスライダに反映されま す。

1651 1680 1700 1720 1740 1760 1780 1800 1820 1840 1860 1880 1900 1920 1940 1960 1980 199 1451 1680 1700 1720 1740 1760 1780 1800 1820 1840 1860 1880 1900 1920 1940 1960 1980 199 ◀ 1651 ► Utzット	Selected	Range :	: 1651	-01-01	~ 199	9-12-31												
1 <mark>651 1680 1700 1720 1740 1760 1780 1800 1820 1840 1860 1880 1900 1920 1940 1960 1898 19</mark> ◀ 1651 ► Utzット	1651	1680	1700	1720	1740	1760	1780	1800	1820	1840	1860	1880	1900	1920	1940	1960	1980	1999
↓ 1651 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	1651	1680	1700	1720	1740	1760	1780	1800	1820	1840	1860	1880	1900	1920	1940	1960	1998	1999
	1651										1999							

図 8-2 操作可能時間変更機能

8.3. リセット

『図 8-3 リセットボタン』の赤丸で示すリセットボタンをマウスでクリックすることにより、指定時間を初期 状態に戻すことが可能になります。

Selected	Range	: 1651	-01-01	~ 199	9-12-31												
1651	1680 I	1700	1720	1740	1760 1	1780 I	1800	1820	1840	1860	1880	1900	1920	1940	1960	1980 I	1999
1 <mark>6</mark> 51	1680	1700	1720	1740	1760	1780	1800	1828	1840	1860	1880	1900	1920	1940	1960	1980	19 <mark>9</mark> 9
1651	Þ					(リセッ	· ト)						1999	Þ

図 8-3 リセットボタン



『図 9-1 レコードの表示』のように、データビューのレコードをクリックすると、その内容がレコード詳細 表示ダイアログに表示されます。

詳細表示されているレコードは他のレコードと異なる色で表示され、レコード詳細表示ダイアログの上部 にレコードと同じ色が表示されます。表示される色は、クリックするごとにランダムに変化します。

レコードのitemの内容で正規表現「https?://[¥w/:%#¥\$&¥?¥(¥)~¥.=¥+¥-]+」に一致する文字列は URL リンクとして表示されます。



図 9-1 レコードの表示

10. レイヤの表示順序変更

レイヤの表示順序をプロジェクトビューのデータセットを移動することで変更できます。プロジェクトを移動することで、そのプロジェクト以下のデータセット及びプロジェクトを一括して移動することもできます。

プロジェクトにデータセット又はプロジェクトを移動した場合はそのプロジェクトの最下部に移動したプロ ジェクト又はデータセットが配置されます。

プロジェクトをデータセット間に移動することはできません。

データセットのサンプル1をサンプル2の下に移動した場合の表示は、『図 10-1 レイヤの移動(前)』と 『図 10-2 レイヤの移動(後)』のようになります。



図 10-1 レイヤの移動(前)



図 10-2 レイヤの移動(後)

11. レイヤの表示/非表示

プロジェクトビューで表示/非表示にしたいデータセット又はプロジェクトのチェックボックスを操作する ことでそのデータセット又はプロジェクト以下の内容を表示/非表示できます。『図 11-1 レイヤの非表 示』ではデータセットのサンプル2を非表示にしています。

※プロジェクトが非表示となっている場合は、そのプロジェクトの子供のデータセット及びプロジェクトは それらのチェックボックスの状態にかかわらず非表示となります。



図 11-1 レイヤの非表示

プロジェクトビューの上部に配置されている全て選択「する」「しない」ボタンにより一括して表示/非表示を切替えることができます。

※(フォルダアイコンが)閉じられているプロジェクトの子供のデータセット及びプロジェクトのチェックボックスの状態は全て選択「する」「しない」ボタンにより変更されません。

12. レイヤの高さ変更

データビュー領域に表示されたレイヤの高さを変更できます。

『図 12-1 レイヤの高さ変更(前)』のレイヤの境界線をマウスでドラックすると、変更結果は『図 12-2 レイヤの高さ変更(後)』の表示になります。

※レイヤの高さ変更は、「17.9. レイヤの高さ変更」でも行えます。



図 12-1 レイヤの高さ変更(前)

HuTime : C:¥Users¥DI012¥Do	cuments¥job¥人文研¥新システム201210¥gt-time.20121018¥gt-time¥data¥sample.2¥sample.gts
ファイル 解析 ヘルブ	
全て選択 する しない ■ ダ 量 レイヤーサンブル ■ ダ 量 レイヤーサンブル ■ ダ サンブル1 ■ ダ サンブル2 ■ ダ サンブル3	T >> J/ L/L/L (RESP. T)
	サンゴル3 第594.04年464 9 5000 5.0 641 安平庁 を安備品はための地に強化するのです。 安平庁 を安備品はための地に強化するのです。 またりかっての時間日大型の強いない時間 日大型の後期の日本間のもの時間 日大型の後期の日本間の後期の日本間 日本目の後期の日本間の後期の日本間 日本目の後期の日本間の後期の日本間 日本目の後期の日本間の後期の日本間 日本目の後期の日本間の後期の日本間 日本目の後期の日本間の後期の日本間 日本目の後期の日本間の後期の日本間 日本目の後期の日本間の後期の日本間 日本目の後期の日本間の後期の日本間 日本目の後期の日本間の後期の日本目 日本目の後期の日本間の後期の日本目 日本目の後期の日本間の後期の日本目 日本目の後期の日本目の後期の日本目 日本目の後期の日本目の後期の日本目 日本日の日本目の 日本日の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目の日本目の日本目 日本日の日本目の日本目の日本目の日本目の日本目の日本目の日本目の日本目の日本目の
	1651 ▶ Utv ト (1999 ▶

図 12-2 レイヤの高さ変更(後)

13. レイヤの削除

プロジェクトビューで削除したいデータセット名の上で右クリックをすることによって表示されるコンテキス トメニューから「削除」を選択することでクリックされたデータセットを削除できます(『図 13・1 削除機能』参 照)。

ファイル 解析 へルコ	1
全て選択(する)	しない サンプルー
 □ 図 ▲ レイヤーサ 図 ・ サンプル 図 ・ サンプル 図 ま サンプル 	ンブル 1.7 1.6 1.5 1.4 1.3 3 名前変更 削除
	簡易表示 時間目盛表示 レイヤ全体を表示
	保存 名前を付けて保存… エクスポート ・
	レイヤ高さ レイヤ表示設定 メタデータを表示

図 13-1 削除機能



プロジェクトビュー上で、プロジェクト名またはデータセット名の変更が可能です。

プロジェクト名を変更する場合は、『図 14-1 プロジェクト名の変更』の様にプロジェクト名(レイヤサンプル)上で右クリックすると、『図 14-2 名前変更ダイアログ』が表示されますので、名前を入力して下さい。

全て選択 する しない サンプル1	
 □ 図 → レイヤーサンゴル 1.7 名前変更 プロジェクト全体を表示 新規作成 開く インポート 保存 名前を付けて保存 エクスポート 	

図 14-1 プロジェクト名の変更

名前変更
レイヤーサンプル
はい(Y) いいえ(N)

図 14-2 名前変更ダイアログ

データセット名を変更する場合は、『図 14・3 データセット名の変更』の様に、プロジェクト名(レイヤサンプル)からデータセット名を選択し、データセット名(サンプル2)上で右クリックし、名前変更を選択すると、『図 14・4 名前変更ダイアログ』が表示されますので、名前を入力して下さい。

ファイル 解析 ヘルプ	
全て選択(する)(し	しない サンブル1
 □- 図	プル 1.7 1.6 1.5 1.4
■ ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	名前変更 削除
	簡易表示 時間目盛表示 レイヤ全体を表示
	保存 名前を付けて保存… エクスポート ▶
	レイヤ高さ レイヤ表示設定 グラフ設定
	メタデータを表示

図 14-3 データセット名の変更

名前変更	3
サンブル2 Iはい(Y) いいえ(N)	

図 14-4 名前変更ダイアログ

15. レイヤの保存

15.1. 保存

保存実施は『図 15-1 レイヤの保存』のように、レイヤ名を右クリックしての「保存」を選択します。



図 15-1 レイヤの保存

15.2. 名前を付けて保存

名前を付けて保存実施は『図 15-2 名前を付けて保存』のように、レイヤ名を右クリックして「名前を付けて保存…」を選択します。


図 15-2 名前を付けて保存

ファイル保存ダイアログで、保存するファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックします。『図 15-3 レ イヤの保存』を参照してください。

🔇 保存			
保存:	<u>]</u> sample	•	🏂 📂 🛄 -
最近使った項 目	0.xml 1.xml 3.xml		
デスクトップ			gtmファイルを出力 ◎ する ○ しない
マイ ドキュメ ント			
コンビュー ター			
	ファイル名:	3.xml	保存(<u>S</u>)
ネットワーク	ファイルのタイプ:	xml	▼ 取消

図 15-3 レイヤの保存

TMMファイルが読み込まれている場合、システムの設定で「TMS,TMMをGTS,GMMで保存する警告を表示しない」が選択されていない場合は、保存の前に警告のダイアログボックスが表示されます。 『図 15-4 警告ダイアログ』を参照してください。



図 15-4 警告ダイアログ

16. 時間カーソル機能

16.1. 時間カーソルの表示

『図 16-1 時間カーソル表示』のように、レイヤ上には複数のレイヤにまたがって時間を示すカーソルが 表示されます。カーソルはマウスの動作に連動して左右に移動します。



図 16-1 時間カーソル表示

16.2. 時間カーソル上のデータ表示

マウスを上下に動かした場合、『図 16-2 時間カーソル上のデータ表示(1)』及び『図 16-3 時間カー ソル上のデータ表示(2)』のように、マウスがフォーカスしているレイヤにのみ、データの値が表示されま す。









16.3. 時間カーソルを用いた範囲指定

『図 16-4 時間カーソルを用いた範囲指定』のように、レイヤ上でマウスをドラッグすることで、範囲指定 ができます。範囲指定された部分は色が変わります。

指定された部分でマウスをダブルクリックするか、又は、指定された部分以外でマウスをクリックすること で指定が解除されます。



図 16-4 時間カーソルを用いた範囲指定

16.4. 範囲指定の追加

キーボード上の[Ctrl]ボタンを押しながら、レイヤ上でマウスをドラッグすることで、範囲指定を追加する ことができます(『図 16-5 指定範囲の追加』参照)。範囲指定された部分は色が変わります。既に指定さ れている部分と重なった場合には連続した範囲になります(『図 16-6 指定範囲の結合』参照)。



図 16-5 指定範囲の追加



図 16-6 指定範囲の結合

17. レイヤ上での基本機能

レイヤ上での基本機能は『表 17-1 レイヤ上での基本機能』の通りです。

表 17-1 レイヤ上での基本機能

項番	項目	備考
1	暦表示	レイヤ下部への年表の表示/非表示の切替え
2	画像出力	レイヤを画像として保存
3	CSV 出力	表示データを CSV ファイルとして保存
4	GTM・XML 出力	表示データを GTM・XML ファイルとして保存
5	KML 出力	表示データを KML ファイルとして保存
6	クリップボードにコピー	レイヤを画像としてクリップボードにコピー
7	時間軸計測	時間軸カーソルで指定した範囲の計測、範囲が選択されている場合
		のみ有効
8	簡易表示	簡易表示/非表示の切替え

17.1. レイヤのコンテキストメニュー

レイヤ上で右クリックすると、『図 17-1 レイヤのコンテキストメニュー』が表示されます。また、時間軸計 測中にレイヤ上で右クリックした場合には、『図 17-2 時間軸計測中レイヤのコンテキストメニュー』が表示されます。

サンブル3

馬関県の	名前変更 削除	♪の議員である 変態 粘駐留して亜逆繊に入った動動 事が数 罰 懸面線 遅状最隔点施	ø;
安雪	簡易表示 時間目盛表示	・堂が 数日大雪が路見続き、 辺崇約3月25月 26間約4時間後的3月 に特易施動区数る王堅城において第省議会である新時進整定南省路環城御日学家	聂
	レイヤ全体を表示	?ラ 省の政策制を経代教東国新栗城特別國の推測部体験電源情報の実施で離れて現政府	が
Selected Range : 1	保存 名前を付けて保存…	201余芸川朝66時頃の通び収拾をす もともと1939年8月25日間間間間に加加す	市山
1910 1912 1 1651 1680 17	エクスポート	1920 1922 1924 1926 1928 1930 1932 193 30 1800 1820 1840 1860 1880 1900 1920 1940 1960 1980 199	3 9
 ▲ 1651 	レイヤ高さ レイヤ表示設定	Uセット 【1999	▶

図 17-1 レイヤのコンテキストメニュー

0.8	名前変更
0.7	削除
0.8	簡易表示
サンブル3	時間目盛表示
馬関県の議事会証録報から明文で発書の議員で	レイヤ全体を表示
安平庁を安平県馬関連立女子小学堂が	時間軸計測
袁世凱が議会制度に蘇栗城に特別事報	保存
里が区に改称され、全 フラ 進の好	名前を付けて保存
県知事である管士?)提明蔡雲/層	エクスポート
Selected Range : 1910-05-24T11:21:04.122Z ~ 1935- 1910 1912 1914 1916 1918 1920 1651 1680 1700 1720 1740 1760 1780 180 1651 1651	レイヤ高さ… レイヤ表示設定… グラフ設定 メタデータを表示…

図 17-2 時間軸計測中レイヤのコンテキストメニュー

プロジェクトビューに表示されているレイヤを右クリックすると、『図 17-1 レイヤのコンテキストメニュー』 で表示されているビューと同様のコンテキストメニューが表示されます。同様に時間軸計測中にプロジェク トビューに表示されているレイヤを右クリックすると、『図 17-2 時間軸計測中レイヤのコンテキストメニュ ー』と同様のメニューが表示されます。

ファイル 解析 ヘルブ	
全て選択しするした	まい サンプル1
	, 1.7
ー 🛛 👬 サンプル3 ー 🖉 🍜 サンプル3	名前変更 削除
	簡易表示 時間目盛表示 レイヤ全体を表示
	 名前を付けて保存 エクスポート ▶
	レイヤ高さ レイヤ表示設定 グラフ設定
	メタデータを表示…

図 17-3 プロジェクトビューから表示されたレイヤのコンテキストメニュー



図 17-4 プロジェクトビューから表示された時間軸計測中レイヤのコンテキストメニュー

17.2. 時間目盛表示

レイヤのコンテキストメニューで「時間目盛表示」を選択すると、『図 17-5 時間目盛の表示』のように、 レイヤの下部に年表が描画されます。



図 17-5 時間目盛の表示

既に時間目盛が表示されているときは、レイヤのコンテキストメニューの「時間目盛表示」にチェックマー クが入ります。『図 17-6 時間目盛表示中のコンテキストメニュー』となり、「時間目盛表示」選択すること で時間目盛は表示と非表示が切り替わります。



図 17-6 時間目盛表示中のコンテキストメニュー

17.3. データ出力

コンテキストメニューで「エクスポート」→「データ…」を選択すると、レイヤの内容を CSV 形式または KML 形式でファイルに出力することができます。レイヤ上のコンテキストメニュー『図 17-7 データ出力』 を選択すると、『図 17-8 データ出力ダイアログ』が表示されます。

ファイルタイプで出力するデータのタイプを CSV、kml から選択してください。

ファイルタイプに CSV を選択した場合、CSV ファイルの他に GTM ファイルを同時に出力することも可 能です。また、文字エンコードでは出力する文字コードを UTF-8、Shift_JIS か選択することができます。 らファイル名を指定することで、データを CSV 形式でファイルに出力します。



サンプル3	名前変更 削除		oo oo moo moo maanaa maaaa ahaa ahaa ahaa ahaa ahaa a
	簡易表示		
	時間目盛表示 レイヤ全体を表示		
	保存 名前を付けて保存…		
Selected Range : 1651-01	エクスポート 🕨	データ	
1651 1680 1700 17	レイヤ高さ	画像ファイル…	1880 1900 1920 1940 1960 1980 1999
1 <mark>6</mark> 51 1680 1700 17;	レイヤ表示設定…	画像をコピー	1880 1900 1920 1940 1960 1980 1999
▲ 1651 ►	メタデータを表示…	リセット	◀ 1999 ▶

図 17-7 データ出力

실 保存			X
保存:	<u> sample</u> 2		- 🤌 📂 🖽 📰
最近使った項 目			
デスクトップ			gtmファイルを出力 ◎ する ◎ しない
レ マイ ドキュ マイ ドキュ メント			文字エンコード UTF-8 ▼
(人) コンピュー ター			
く ネットワーク	レ ファイル名: ファイルタイプ:	3.csv Csv	 【保存 ■ 取消し

図 17-8 データ出力ダイアログ

ファイルタイプに kmlを選択した場合、レイヤの内容を KML 形式のファイルに出力することができます。

실 保存					×
保存:	🌗 sample2			- 🤌 📂 🛛	
最近使った項 目					
デスクトップ					
マイ ドキュ メント					
(人) コンピュー ター					
() ネットワーク	レ ファイル名:	3.kml			保存
	ファイルタイプ:	kml		•	取り消し

図 17-9 データ出力ダイアログ(kml 選択時)

17.4. 画像ファイル出力

コンテキストメニューで「エクスポート」→「画像ファイル…」を選択すると、レイヤの内容を raw、bmp、gif、 jpg、png、ppm の各形式でファイルに出力することができます。

出力される画像はレイヤに含まれる全レコードが表示される時間幅で出力されます。

レイヤ上のコンテキストメニュー『図 17-10 画像ファイル出力』を選択すると、『図 17-11 画像ファイル 出力ダイアログ』が表示されます。ファイル名を指定することで、raw、bmp、gif、jpg、png、ppm の各形 式でファイルに出力します。出力可能な画像ファイルの形式は『表 17-2 画像の種類』の通りです。

項番	画像ファイルの形式
1	BMP
2	JPG
3	RAW
4	GIF
5	PNG
6	PPM

表 17-	2 画像	象の種類	顀
-------	------	------	---

名前変更 削除	
簡易表示 時間目盛表示 レイヤ全体を表示	
保存 名前を付けて保存…	
エクスポート 🕨	データ
レイヤ高さ レイヤ表示設定	画像ファイル… 画像をコピー

図 17-10 画像ファイル出力



図 17-11 画像ファイル出力ダイアログ

17.5. 画像をコピー

『図 17-12 画像をコピー』を選択するとレイヤの画像をクリップボードにコピーすることができます。 出力される画像はレイヤに含まれる全レコードが表示される時間幅で出力されます。







図 17-12 画像をコピー

17.6. RDF ファイルの出力

『図 17-13 データセットからの RDF ファイル出力』を選択するとレイヤに保持されている RDF を指定した形式でファイルに出力します。

表	17-3	出力できるファイルの種類
---	------	--------------

項番	ファイルの形式
1	Turtle
2	N-Triple
3	N-Quads
4	TriG
5	RDF/XML
6	RDF/XML Abbrev.
7	RDF/JSON
8	JSON-LD





🔇 保存	10.00		
保存:	🍌 sample2	• 🦸 🖻 🖩	•
した… 最近使った…			ġ
デスクトップ			5
₹ 71 ドキュ			
(人) コンピュー			
	 ファイル名(N):	サンプル3.世	保存
ネットワーク	ファイルのタイプ <mark>(T)</mark> :	Turtie 🗸	取消
		Turtle N-Triple N-Quads TriG RDF/XML RDF/XML Abbrev. RDF/JSON JSON-LD	の00000000 思想により 対容数的。 「教習を知う」 「教習を知う」

図 17-14 RDF ファイル出力ダイアログ

※RDF ファイル出力はプロジェクトビューのプロジェクトを右クリックして表示されるメニュー(『図 17-15 プロジェクトファイルからの RDF ファイル出力』)からも出力することができます。

データセットから RDF ファイル出力を実行した場合は、対象のデータセットファイルとレコードファイルに 含まれる RDF データが出力されます。

プロジェクトから RDF ファイル出力を実行した場合は、対象のプロジェクト以下のプロジェクトファイル、データセットファイル、レコードファイルに含まれる RDF データが出力されます。

ファイル 解析 ヘルプ		
全て選択(する)(しない サンプル1	
🖃 🛛 🕌 レイヤーサン 	• 17 名前変更	
	プロジェクト全体を表示	
	新規作成	
	開く	► ° &
	インボート	•
	保存	
	名前を付けて保存…	
	エクスポート	RDF
		1

図 17-15 プロジェクトファイルからの RDF ファイル出力

17.7. 時間幅の測定

本機能は予め、『16.3 時間カーソルを用いた範囲指定』を用いて範囲指定をしておくことが前提です。

17.7.1. 計測方法

『図 17-16 時間軸計測の指定』に示すように、レイヤのコンテキストメニュー上で「時間軸計測」を選択 すると、『図 17-17 計測結果のダイアログ表示』のように西暦で年、月、週、日、及び時間単位で選択し た始点から終点までの、時間間隔の計測結果がダイアログに表示されます。



図 17-16 時間軸計測の指定



図 17-17 計測結果のダイアログ表示

複数の範囲が選択されている場合は、『図 17-16 時間軸計測の指定(複数選択)』に示すように、レイ ヤのコンテキストメニュー上で「時間軸計測」を選択すると、『図 17-17 計測結果のダイアログ表示(複数 選択)』のように、コンテキストメニューを表示させた選択範囲が赤く表示され、西暦で年、月、週、日、及 び時間単位で選択した始点から終点までの赤く表示された選択範囲の時間間隔の計測結果及び全選 択範囲を合計した時間間隔の計測結果がダイアログに表示されます。



図 17-18 時間軸計測の指定(複数選択)



図 17-19 計測結果のダイアログ表示(複数選択)

複数の範囲が選択されている場合は、『図17-20 時間軸計測の指定(複数選択)2』に示すように、プロ ジェクトビューのコンテキストメニュー上で「時間軸計測」を選択すると、『図17-21 計測結果のダイアログ 表示(複数選択)2』のように、西暦で年、月、週、日、及び時間単位で全選択範囲を合計した時間間隔の 計測結果がダイアログに表示されます。



図 17-20 時間軸計測の指定(複数選択)2



17.7.2. 計測結果の表示

計測結果のダイアログに表示される各値は、年、月、週、日、時間単位で、各値はラジオボタンで相互 に変換可能です。各表示項目については、『表 17-4 計測結果の表示』を参照して下さい」。

表 17-4 計測結果の表示

項番	項目	説明
1	年	小数点以下第3位迄表示
2	月	小数点以下第3位迄表示
3	週	小数点以下第3位迄表示
4	日	整数で表示
5	時間	整数で表示

17.7.3. 計測結果の終了

『図 17-17 計測結果のダイアログ表示』の「閉じる」ボタンをクリックすると、計測結果の表示は終了します。

17.8. 簡易表示

簡易表示とは表示データが一定数を超えた場合に、超えた分を間引く処理を指します。簡易表示が実行されるレコード数は、21章に示す各レイヤの設定で変更できます。省略方法(ルール)は、21章に示めします

レイヤのコンテキストメニューの「簡易表示」(『図 17-22 簡易表示 ON』参照)にチェックマークが付い ていないときに「簡易表示を」を指定するとチェックが付いて簡易表示を開始します。



図 17-22 簡易表示 ON

レイヤのコンテキストメニューの「簡易表示」(『図 17-23 簡易表示 OFF』参照)にチェックマークが付い ているときに「簡易表示を」を指定するとチェックが外れて簡易表示を終了します。

		名前変更 削除		
<	V	簡易表示 時間目盛表示 レイヤ全体を表示		>
		保存 名前を付けて保存… エクスポート	•	
		レイヤ高さ レイヤ表示設定 グラフ設定	•	
		メタデータを表示…		

図 17-23 簡易表示 OFF

49

17.9. レイヤの高さ変更

レイヤのコンテキストメニューの「レイヤ高さ…」(『図 17-24 レイヤ高さ変更』参照)を指定すると、『図 17-25 高さ値の設定ダイアログ』ダイアログを表示します。



図 17-24 レイヤ高さ変更

高さ変更	×
	200 쿶 px
ОК	Cancel

図 17-25 高さ値の設定ダイアログ

値を設定すると、レイヤの高さをピクセル単位で変更できます。

17.10. メタデータの表示

レイヤのコンテキストメニューの「メタデータを表示...」(『図 17-26 メタデータを表示』参照)を指定する と、レイヤに指定されているメタデータ(metadata 要素以下の内容)を表示する『図 17-27 メタデータ表 示ダイアログ』のダイアログを表示します。



図 17-26 メタデータを表示



図 17-27 メタデータ表示ダイアログ

18. プロジェクト及びレイヤの全体表 示

18.1. プロジェクト全体を表示

プロジェクトのコンテキストメニューの「プロジェクト全体を表示」(『図 18-1 プロジェクト全体を表示』参照)を指定すると、すべてのレイヤに渡ってレイヤのデータ全体が表示されるように表示が調整されます。



図 18-1 プロジェクト全体を表示

下記では、「サンプル1」「サンプル2」はデータがレイヤ内に収まっていませんが(『図 18-2 「プロジェクト 全体を表示」実行前』参照)、「プロジェクト全体を表示」を実行後は全体が収まって表示されるようになり ます。(『図 18-3 「プロジェクト全体を表示」実行後』参照)







図 18-3 「プロジェクト全体を表示」実行後

18.2. レイヤ全体を表示

レイヤのコンテキストメニューの「レイヤ全体を表示」(『図 18-4 レイヤ全体を表示』参照)を指定すると、 指定されたレイヤのデータが、レイヤ幅いっぱいに表示されます。

名前変更 削除
簡易表示 時間目盛表示 レイヤ全体を表示
保存 名前を付けて保存… エクスポート ・
レイヤ高さ レイヤ表示設定 グラフ設定・・
メダナーダを表示

図 18-4 レイヤ全体を表示

サンプル	3																	-
													馬翻線			-	1	
													湯酸					
													藏藏					
													里湖					
													71.2342	•			_	Ŧ
Selected	Range	: 165	1-01-01	T00:00):00Z ~	1999-	12-317	F23:59:	59Z									
1651	1680 1	1700	1720	1740 I	1760 I	1780 I	1800	1820	1840 I	1860	1880 1	1900	1920	1940	1960	1980 1	1999	
1 <mark>6</mark> 51	1680	1700	1720	1740	1760	1780	1800	1820	1840	1860	1880	1900	1920	1940	1960	1980	19 <mark>9</mark> 9	
1651	Þ							リセッ	• •						•	1999	Þ	

図 18-5 「レイヤ全体を表示」実行前

_							0. E 10.		11.0.0	10 E				0.00
馬関螺	政權意思	1004 A.C.	0.92			Ŵ							_	
		<u> </u>								101 1	• • • • •			
安半	馬蘭曼金		glette jagan d	1996, A. S.	1467 (1. 7	iwit " .					•			
_							1111		1 1111	111	1.1.111			
R			aan dala asta di Fili		1.4.1. 7 943.	:6:		-			<u>.</u>	•		
甲 :	hivi - Balai n										11111			
±/		20.399700-740-0308 BB												
, E	147 本字化表	5												
		chan any in April 200										· · · · -		_
5														
Helected	Range :	1912-01-01	T00:00:00	Z ~ 1990)-12-31T	23:59:5	9Z							
Selected 19 <mark>12</mark>	Range : 1920	1912-01-01 1925 19	T00:00:00 30 1935	Z ~ 1990 1940)-12-31T 19 <mark>4</mark> 5	23:59:5 1950	9Z 1955	1960	1965	1970	1975	1980 I	1985	19 <mark>90</mark>

図 18-6「レイヤ全体を表示」実行後

19. 数値レイヤ上での機能

数値(グラフ)レイヤでは、『17レイヤ上での基本機能』に加えて、『表 19-1 数値レイヤ上での機能』の 機能を利用できます。

表 19-1 数値レイヤ上での機能

項番	項目	備考
1	数値計測	指定範囲内レコードの最大値、最小値、平均値、レコード数の表示
2	補助線表示	グラフの補助線の表示/非表示指定
3	グラフ目盛	縦軸の目盛の指定
4	グラフ種類	グラフのタイプの変更指定

19.1. 数値レイヤのコンテキストメニュー

数値レイヤ上でマウスを右クリックすると、時間軸計測中以外は『図 19-1 グラフ用のコンテキストメニュ ー』が、時間軸計測中は『図 19-2 グラフ用の時間軸計測中のコンテキストメニュー』が表示されます。

名前変更 削除						
簡易表示 時間目盛表示 レイヤ全体を表示						
保存 名前を付けて保存… エクスポート	•					
 レイヤ高さ レイヤ表示設定			<u>米村/古三</u>	上3月11	•	
シラフ設定 メタデータを表示		~	 (補助約) グラコ グラコ 	·/// 泉表示 2日盛 2種類		>

図 19-1 グラフ用のコンテキストメニュー



図 19-2 グラフ用の時間軸計測中のコンテキストメニュー

19.2. 数値計測

本機能は予め、『16.3 時間カーソルを用いた範囲指定』を用いて範囲指定をしておくことが前提です。

19.2.1. 指定時間範囲内の最大値、最小値及び平均値表示

時間カーソルを用いて、始点と終点を指定し、指定された範囲内にあるレコードの最大値、最小値及び 平均値と、範囲内のレコード数を表示します。

測定方法

レイヤ上でマウスを右クリックし、表示される項目中から、「グラフ設定」→「数値計測」→「最大最小平 均」をクリックして下さい。『図 19-3 最大値、最小値及び平均値計測の開始方法』することにより該当す る値が『図 19-4 最大、最小、平均、レコード数計測結果ダイアログの表示』に表示されます。「グラフ設 定」→「数値計測」→「最大」を選択した場合は、『図 19-5 最大値測定結果のダイアログ表示』に表示さ れます。

計測結果の表示については、『表 19-2 計測結果の表示』を参照して下さい。なお、本処理を行う場合に、簡易表示の指定が ON であっても無視され、指定時間範囲内の全レコードが計算対象になります。

表 19-2 計測結果の表示

項番	ダイアログ	項目	説明
1	最大最小平均	最大値	指定時間範囲内の最大値
2		最小値	指定時間範囲内の最小値
3		平均值	指定時間範囲内の平均値
4		レコード数	指定時間範囲内のレコード数
5	最大値	最大値	指定時間範囲内の最大値

名前変更 削除 簡易表示 時間目盛表示 レイヤ全体を表示 時間軸計測 保存 名前を付けて保存… エクスボート レイヤ高さ… レイヤ表示設定… グラフ設定 メタデータを表示… グラフ経類						
簡易表示 時間目盛表示 レイヤ全体を表示 時間軸計測 保存 名前を付けて保存 エクスボート レイヤ高さ レイヤ表示設定 グラフ設定 メタデータを表示 ダラフ目盛 グラフ種類 ・	名前変更 削除					
保存 名前を付けて保存 エクスポート・ レイヤ高さ レイヤ表示設定 グラフ設定 数値計測 最大最小平均 最大 メタデータを表示 グラフ目盛・ グラフ種類・	簡易表示 時間目盛表示 レイヤ全体を表示 時間軸計測					
レイヤ高さ… レイヤ表示設定… グラフ設定 数値計測 メタデータを表示… グラフ目盛 グラフ種類 グラフ種類	保存 名前を付けて保存… エクスポート	•				
グラフ設定 数値計測 最大最小平均 メタデータを表示… 補助線表示 長大 グラフ目盛 グラフ種類	レイヤ高さ レイヤ表示設定					
×タデータを表示 ✓ 補助線表示 最大 グラフ目盛 ▶ グラフ種類 ▶	グラフ設定	Þ		数値計測	1	最大最小平均
グラフ種類 🕨	メタデータを表示…	V	(補助線表示 グラフ目感	•	最大
				グラフ種類	×	

図 19-3 最大値、最小値及び平均値計測の開始方法



図 19-4 最大、最小、平均、レコード数計測結果ダイアログの表示



図 19-5 最大値測定結果のダイアログ表示

19.3. 補助線表示/非表示

補助線とは、目盛毎に時間軸に平行に引いた線のことを言います。補助線を非表示にする場合には、 補助線が表示されている状態でレイヤを右クリックして現れるコンテキストメニューから、『図 19-6 補助 線非表示』の補助線表示を選択します。補助線表示のチェックマークが外れて『図 19-7 補助線非表 示』のようにレイヤの横線が不可視になります。



図 19-6 補助線非表示



図 19-7 補助線非表示

補助線を表示する場合は、補助線が表示されている状態でレイヤを右クリックして現れるコンテキストメニューから、『図 19-8 補助線表示』の補助線表示を選択します。補助線表示にチェックマークが表示されて『図 19-9 補助線表示』のように補助線が可視になります。



図 19-8 補助線表示



図 19-9 補助線表示

19.4. グラフ目盛

グラフ目盛とは、数値レイヤに表示されている各グラフ上の縦軸に表示される値を言います。 『図 19-10 グラフ目盛変更コンテキストメニュー』のように、目盛をメニューの「グラフ目盛」によって指 定することで「全データ」「時間範囲内」「任意入力」で変更できます。

	-	
名前変更 削除		
簡易表示 時間目盛表示 レイヤ全体を表示		
保存 名前を付けて保存… エクスポート ▶		
レイヤ高さ レイヤ表示設定		7
グラフ設定・●	数値計測 → 補助線表示	
メタデータを表示	グラフ目盛 り	全データ(初期値)
	グラフ種類 リ	時間範囲内
		任意入力

コンテキストメニューの目盛で指定可能な項目の意味は『表 19-3 グラフ目盛の設定』の通りです。

表 19-3 グラフ目盛の設定

項番	項目	意味
1	全データ(初期値)	データセット内の全データ中の最大値と最小値を基準にして縦軸の
T		目盛を決定、表示時間範囲を変更しても縦軸の目盛は不変
0	時間範囲内	表示しているデータ中の最大値と最小値を基準にして縦軸の目盛を
Z		決定、表示時間範囲を変更すると縦軸の目盛が変化
0	任意入力	縦軸の目盛を入力した値により決定、表示時間範囲を変更しても縦
3		軸の目盛は不変

図 19-10 グラフ目盛変更コンテキストメニュー

19.4.1. 全データ(初期値)の表示例

『図 19-11 全データ(初期値)表示時間変更前』から『図 19-12 全データ(初期値)表示時間変更後』 に表示時間範囲を変更しても、縦軸のグラフ目盛は変わりません。



図 19-11 全データ(初期値)表示時間変更前



図 19-12 全データ(初期値)表示時間変更後

19.4.2. 時間範囲内の表示例

『図 19-13 時間範囲内表示時間変更前』から『図 19-14 時間範囲内表示時間変更後』に表示時間 範囲を変更すると、縦軸の目盛が変化します。



図 19-13 時間範囲内表示時間変更前





19.4.3. 任意入力

『図 19-10 グラフ目盛変更コンテキストメニュー』の「任意入力」を選択すると、『図 19-15 グラフ目盛 の最大値・最小値入力』画面が表示されます。ここから、縦軸の目盛の最大値と最小値を入力して下さ い。

🔮 目盛値入力	×
最大値:	2
最小値:	
適用	キャンセル

図 19-15 グラフ目盛の最大値・最小値入力

『図 19-16 入力された値で縦軸を描画した例、時間変更前』から『図 19-17 入力された値で縦軸を 描画した例、時間変更後』に表示時間範囲を変更しても、縦軸の目盛は変化しません。


図 19-16 入力された値で縦軸を描画した例、時間変更前



図 19-17 入力された値で縦軸を描画した例、時間変更後

19.5. グラフ変更機能

数値(グラフ)レイヤの表示タイプを他の数値(グラフ)レイヤの表示に変更できます。 数値(グラフ)レイヤ上で、右クリック-「グラフ設定」→「グラフ種類」、により表示したいレイヤを選択する ことで、切替え可能です(『図 19-18 グラフ表示レイヤの切替え』を参照)。



図 19-18 グラフ表示レイヤの切替え

『図 19-18 グラフ表示レイヤの切替え』の状態から、「点グラフ」を選択すると、『図 19-19 切り替え機 能でグラフ変更(前)』から『図 19-20 切替え機能でグラフ変更(後)』のように線グラフであったものが点 グラフでレイヤ表示されます。





図 19-19 切り替え機能でグラフ変更(前)

図 19-20 切替え機能でグラフ変更(後)

切替えた状態のプロジェクトを保存することで、次回に保存したプロジェクトを開くと切替えたグラフ表示 でそのレイヤを表示できます。

20. 設定

20.1. 設定画面の表示

メニューバーの「ファイル」→「設定...」を選択することで、利用者環境に合わせた設定の変更を行うこと ができます(『図 20-1 設定項目の選択』参照)。

設定画面では、「一般」項目の設定とプラグインで提供される設定項目を設定できます。各プラグインの 設定項目は、それぞれのプラグインのマニュアルを参照してください。

ファイル 解析 ヘルブ	
新規作成 ワークスペースを開く	
保存 名前を付けて保存…	13 12 13 13
開く インポート	1. 1.1 0.3 0.3
画像エクスポート… 印刷…	
設定	
終了	ti ti
	1

図 20-1 設定項目の選択

20.2. 一般設定項目

20.2.1. ブラウザ設定

『図 20-2 ブラウザ起動ファイル設定』のように、レコード詳細ダイアログでリンクがクリックされたときに 起動されるブラウザの実行ファイルのパスを指定します。

マウスで「参照」ボタンをクリックすると、ブラウザの実行ファイルのパスを選択するファイル選択ダイアロ グが表示されます。

<u>多</u> 設定画面	
 設定画面 中般 年表レイヤ既定値 ダラフレイヤ既定値 様グラフレイヤ既定値 たんプラフレイや既定値 たんデレイや既定値 アスクレイや既定値 	プラグインディレクトリ ・ ブラウザ起動ファイル ごProgram Files (x86)Mozilla Firefox/firefox.exe 言語 日本語 (日本語) 利用可能メモリー 最小値: 256 MB, 最大値: 512 MB
	表示 ▼ 年表表示で端点の開閉を表示する 保存 □ TMS,TMMをGTS,GTMで保存する警告を表示しない。 □ リモートファイルを常にローカルに保存する。 ▼ ◆

図 20-2 ブラウザ起動ファイル設定

20.2.2. プラグインの設定

プラグインが存在するディレクトリパスを入力します。プラグインディレクトリは複数指定できます。

マウスで「参照」ボタンをクリックするとプラグインの参照先を選択するファイル選択ダイアログが表示されます。

「-」ボタンで指定しているプラグインディレクトリを削除できます。

「+」ボタンでプラグインディレクトリを更に指定できます。

『図 20-3 プラグインの設定』を参照してください。

<u></u> 多 設 定 画 面		x
 設定画面 日表		
	■ TMS,TMMをGTS,GTMで保存する警告を表示しない。	
		+
	OK キャンセ	:

図 20-3 プラグインの設定

20.2.3. 言語の設定

多言語設定が可能です。『図 20-4 言語の設定』を参照して下さい。

<u>▲</u> 設定画面	
一般 年表レイヤ既定値 点グラフレイヤ既定値 線グラフレイヤ既定値	プラグインディレクトリ /t2map/plugins 参照 +
 棒グラフレイヤ既定値 歴表示レイヤ既定値 暦(幅あり)レイヤ既定値 マスクレイヤ既定値 	ブラウザ起動ファイル C:\Program Files (x86)\Mozilla Firefox\firefox.exe
	言語 日本語 (日本語) ▼
	最小値: 256 ▲ MB, 最大値: 512 ▲ MB 表示 ▼ 年表表示で端点の開閉を表示する
	保存 「TMS,TMMをGTS,GTMで保存する警告を表示しない。 「リモートファイルを常にローカルに保存する。
	 OK キャンセル

図 20-4 言語の設定

言語登録を行うためには、『図 20-5 言語フォルダの構成』のように、¥bin¥lib¥resourceフォルダの下に多言語用の必要な言語の指定を行って下さい。

hutim	e • bin • lib • resource •		→ 4.	, 検索	
表示	・ 🛄 エクスプローラ 🛛 熱 共有				
	名前	更新日時	種類	サイズ	
	🔐 en	2009/03/04 18:41	ファイルフォルダ		
	🐊 ja	2009/03/04 18:41	ファイル フォルダ		
	退 th	2009/03/04 18:41	ファイル フォルダ		



20.3. 年表表示での端点の開閉表示

『図 20-6 端点の開閉表示設定』で年表レイヤ、暦(幅あり)レイヤ、マスクレイヤで表示されるレコードの 端点の開閉(端点をレコードに含めるのか含めないのか)表示の ON/OFF を制御できます。チェックボ ックスにチェックがある場合(ONの場合)、『図 20-7 開閉表示』のようにレコードの幅が 20px 以上のとき に端点が閉じている場合は「黒」、端点が開いている場合は「白」で表示されます。

設定画面	
 設定画面 日表	ブラヴインディレクトリ ・./t2map/plugins サ ブラウザ起動ファイル C:\Program Files (x86)\Mozilla Firefox\firefox.exe 言語 日本語(日本語) 利用可能メモリー 最小値: 256 MB,最大値: 512 MB 気示 ダ年表表示で端点の開閉を表示する
	保存 「「TMS,TMMをGTS,GTMで保存する警告を表示しない。 「」リモートファイルを常にローカルに保存する。

図 20-6 端点の開閉表示設定



図 20-7 開閉表示

20.4. TMS, TMM の保存警告表示

『図 20-8 TMS,TMM の保存警告設定』で TMS,TMM を GTS,GTM で保存する際の警告表示の ON/OFF を制御できます。チェックボックスにチェックがない場合(OFF の場合)、『図 20-8 TMS,TMM の保存警告設定』のように保存時にダイアログボックスが表示されます。

些 設定画面	
 一般 年表レイヤ既定値 点グラフレイヤ既定値 線グラフレイヤ既定値 棒グラフレイヤ既定値 	プラグインディレクトリ t2map/plugins ◆照 ◆
歴表示レイヤ既定値 暦(幅あり)レイヤ既定値 マスクレイヤ既定値	ブラウザ起動ファイル C:\Program Files (x86)\Mozilla Firefox\firefox.exe 参照
	 言語 □本語(□本語) ▼ 利用可能メモリー 最小値: 256 MB, 最大値: 512 MB 表示 家示 ② 年表表示で端点の開閉を表示する 保存 TMS,TMMをGTS,GTMで保存する警告を表示しない。 □ リモニトラァイルを常にロニカルに保存する。
	OK キャンセル

図 20-8 TMS,TMM の保存警告設定

20.5. リモートファイル保存動作

『図 20-9 リモートファイル保存動作設定』でリモートファイルを保存する際の動作を制御できます。チェックボックスにチェックがない場合(OFFの場合)、リモートファイルの保存時にダイアログボックスが表示されます。チェックボックスにチェックがある場合(ONの場合)、リモートファイルはダイアログ表示されないでローカルシステム上に保存されます。

<u>▲</u> 設定画面		x
 一般 年表レイヤ既定値 点グラフレイヤ既定値 線グラフレイヤ既定値 	プラグインディレクトリ /t2map/plugins 参照 +	
 棒グラフレイヤ既定値 歴表示レイヤ既定値 暦(幅あり)レイヤ既定値 マスクレイヤ既定値 	ブラウザ起動ファイル C:\Program Files (x86)\Mozilla Firefox\firefox.exe	
	 言語 日本語(日本語) 利用可能メモリー 最小値: 256 ▲ MB, 最大値: 512 ▲ MU 表示 ダ 年表表示で端点の開閉を表示する 保存 TMS,TMMをGTS,GTMで保存する警告を表示しない。 	3
	 リモートファイルを常にローカルに採存する。 (OK キャン・ 	+ + セル

図 20-9 リモートファイル保存動作設定

20.6. レイヤ既定値設定項目

『図 20-10 レイヤ規定値設定図』に示されるタブをクリックして現れる画面で各レイヤの表示スタイル設定の既定値を設定できる。設定された既定値は表示スタイルの指定されていないデータを読み込んだ場合や各レイヤ設定で「既定値」ボタンを押したときにレイヤに適用される。設定内容は各レイヤについての説明に記述される。

些 設定画面		x
 	プラグインディレクトリ t2map/plugins 参照… + ブラウザ起動ファイル C:\Program Files (x86)\Mozilla Firefox\firefox.exe 参照…	
	言語 日本語 (日本語) ▼ 利用可能メモリー 最小値: 256 ↓ MB, 最大値: 512 ↓ MB 表示 ▼ 年表表示で端点の開閉を表示する	
	保存 ■ TMS,TMMをGTS,GTMで保存する警告を表示しない。 ■ リモートファイルを常にローカルに保存する。 ▲ OK キャンセ	214

図 20-10 レイヤ規定値設定

21. データ表示レイヤ

21.1. 年表表示レイヤ

21.1.1. 表示画面

tmmファイルのt2map.layertypeのCONTENT又は、gts、gtmファイルのlayerType要素の内容が、「DefaultLayer」に設定されているデータセットが年表表示レイヤとして表示されます。レコードのタイトルとレコードの時間幅を矩形の横幅に対応させてレコードを表示します。『図 21・1 年表表示レイヤ』を参照して下さい。

レコードにグループが指定してある場合は、表示設定によってグループごとに色分けしてレコードを表示することができます。

簡易表示機能が OFF の時にレコード幅が 2px より小さい場合、レコードは丸で表示されます。



図 21-1 年表表示レイヤ

21.1.2. 設定項目

年表表示レイヤの設定として「プロットの色」「プロットの枠線の色」などを設定できます。色の変更は色 選択ダイアログで行えます。『図 21-2 年表表示レイヤの設定項目』を参照して下さい。

簡易表示をオンにすると、簡易表示レコード数以上のときに、イベント幅が1px以下のレコードは間引かれて表示されます。

詳細画面フォントの設定でプロットをクリックしたときに表示される詳細画面(ダイアログ)中の文字列のフ ォントを指定できます。

グループ名の表示設定でグループの名称をレイヤ上への表示を ON/OFF できます。

- グループ1			
プロット			
色 枠線の色			
フォント			
名前 MS ゴシック 🔹 色 💻			
サイズ 14 🖶 pt スタイル プレーン 💌			
レコードハイライト			
色 💻			
背景			
色			
詳細画面フォント			
名前 Dialog ▼			
グループ名の表示			
◎ 表示する 💿 表示しない			
レイヤ高さ			
高さ 100 🌩 px			
簡易表示			
ON OFF			
適用レコード数 100,000			
OK キャンセル 既定値			

図 21-2 年表表示レイヤの設定項目

21.2. 点グラフ表示レイヤ

21.2.1. 表示画面

tmm ファイルの t2map.layertype の CONTENT 又は、gts、gtm ファイルの layerType 要素の内容が、 「PlotChartLayer」に設定されているデータセットが、『図 21-3 点グラフレイヤ』のように、点グラフ表示 レイヤとして表示します。縦の位置は item 要素の name 属性の値が number である item 要素の内容 です(値は数値である必要があります)。

レコードにグループが指定してある場合は、表示設定によってグループごとに色分けしてレコードを表示することができます。



図 21-3 点グラフレイヤ

21.2.2. 設定項目

点グラフレイヤの項目設定は、『図 21-4 点グラフレイヤの設定項目』のように表示されます。設定項目 として「プロットの色」「プロットの枠線の色」「プロットの大きさ」「簡易表示」「簡易表示レコード数」などを設 定できます。色の変更は色選択ダイアログで行えます。「プロットの大きさ」は1から10の間で変更できま す。

簡易表示をオンにすると、簡易表示レコード数以上のときに、プロット対象のレコードの値が前後両方の 値に対して小さいか又は大きくない場合、及び隣接するプロットが重なる場合は、間引かれて表示されま す。

レコードにグループが指定してある場合は、シンボルの設定をグループごとに行えます。

詳細画面フォントの設定でプロットをクリックしたときに表示される詳細画面(ダイアログ)中の文字列のフ ォントを指定できます。

グループ名の表示設定でグループの名称をレイヤ上への表示を ON/OFF できます。

 	
- グループ1 グループ2	
シンボル	
サイズ 9 🖨 px 形 🔾 🔻	
レコードハイライト	5
ê ===	
背景	
é	
詳細画面フォント	-1
名前 MV Boli 👻	
グループ名の表示	
◎ 表示する 💿 表示しない	
レイヤ高さ	
高さ 200 🌪 px	
簡易表示	
ON OFF	
適用レコード数 10,000 🚔	
OK キャンセル 既定値	

図 21-4 点グラフレイヤの設定項目

21.3. 線グラフ表示レイヤ

21.3.1. 表示画面

tmm ファイルの t2map.layertype の CONTENT 又は、gts、gtm ファイルの layerType 要素の内容が、「LineChartLayer」に設定されているデータセットが『図 21-5 線グラフレイヤ』のように、線グラフ表示 レイヤとして表示されます。レコードを点として表示します。縦の位置は item 要素の name 属性の値が number である item 要素の内容です(値は数値である必要があります)。隣接するレコードを線で結んで 表示します。

レコードにグループが指定してある場合は、表示設定によってグループごとに色分けしてレコードを表示することができます。



図 21-5 線グラフレイヤ

21.3.2. 設定項目

線グラフレイヤの項目設定は『図 21-6 線グラフレイヤの設定項目』のように表示されます。設定項目として「プロットの色」「プロットの枠線の色」「プロットの大きさ」「線の色」「線の太さ」「簡易表示」「簡易表示レ

コード数」などを設定できます。色の変更は色選択ダイアログで行えます。「プロットの大きさ」は1から10の間で変更できます。「線の太さは」は1から5の間で変更できます。

簡易表示をオンにすると、簡易表示レコード数以上のときに、プロット対象のレコードの値が前後両方の 値に対して小さいか又は大きくない場合、及び隣接するプロットが重なる場合は、間引かれて表示されま す。

レコードにグループが指定してある場合は、線とシンボルの設定をグループごとに行えます。

詳細画面フォントの設定でプロットをクリックしたときに表示される詳細画面(ダイアログ)中の文字列のフ ォントを指定できます。

グループ名の表示設定でグループの名称をレイヤ上への表示を ON/OFF できます。

▲ 設定画面	J
- グループ1 グループ2	
- 線	
色 📕 太さ 1 🚔	
シンボル	
色 📕 枠線の色 📕	
サイズ 9🚔 px 形 🔾 🔻	
レコードハイライト	
色 💻	
背景	
é	
詳細画面フォント	
名前 MV Boli 🔹	
グループ名の表示	
◎ 表示する 💿 表示しない	
レイヤ高さ	
高さ 200 合 px	
適用レコード数 10,000	
OK キャンセル 既定値	

図 21-6 線グラフレイヤの設定項目

21.4. 棒グラフ表示レイヤ

21.4.1. 表示画面

tmm ファイルの t2map.layertype の CONTENT 又は、gts、gtm ファイルの layerType 要素の内容が、「BarChartLayer」に設定されているデータセットが『図 21-7 棒グラフ表示レイヤ』のように表示されます。各レコードのプロット(棒)の横幅は開始日時から終了日時の時間幅で表示され、縦軸は item 要素の name 属性が number である要素の内容の値で表示されます。

レコードにグループが指定してある場合は、表示設定によってグループごとに色分けしてレコードを表示することができます。



重なったレコードを判別できるようにプロット(棒)の色を透明化することもできます。

図 21-7 棒グラフ表示レイヤ

21.4.2. 設定項目

棒グラフレイヤの項目設定は『図 21-8 棒グラフレイヤの設定項目』のように表示されます。設定項目として「棒の色」「棒の枠線の色」「簡易表示」「簡易表示レコード数」などを設定できます。色の変更は色選択ダイアログで行えます。

簡易表示をオンにすると、簡易表示レコード数以上のときに、プロット対象のレコードの値が前後両方の 値に対して小さいか又は大きくない場合は、間引かれて表示されます。

レコードにグループが指定してある場合はプロットの設定をグループごとに行えます。

詳細画面フォントの設定でプロットをクリックしたときに表示される詳細画面(ダイアログ)中の文字列のフ ォントを指定できます。

グループ名の表示設定でグループの名称をレイヤ上への表示を ON/OFF できます。

🛃 設定画面
-
プロット
色 📃 枠線の色 📕
- レコードハイライト
色 ——
背景
色
詳細画面フォント
名前 Dialog ▼
ジループ名の表示
◎ 表示する 💿 表示しない
レイヤ高さ
高さ 200 🌪 px
簡易表示
ON OFF
適用レコード数 10,000 🚔
OK キャンセル 既定値

図 21-8 棒グラフレイヤの設定項目

21.5. マスク表示レイヤ

21.5.1. 表示画面

tmm ファイルの t2map.layertype の CONTENT 又は、gts、gtm ファイルの layerType 要素の内容が、「MaskLayer」に設定されているデータセットが『図 21-9 マスク表示レイヤ』として表示されます。マスク レイヤはデータ抽出に利用します。レコードをクリックしても詳細情報は表示されません。



図 21-9 マスク表示レイヤ

21.5.2. 設定項目

年表表示レイヤの設定として「プロットの色」「プロットの枠線の色」などを設定できます。色の変更は色 選択ダイアログで行えます。『図 21-10 マスクレイヤの設定項目』を参照して下さい。

簡易表示をオンにすると、簡易表示レコード数以上のときに、イベント幅が1px以下のレコードは間引かれて表示されます。

 設定画面
プロット
色 解線の色
省景
ė 📃
簡易表示
ON OFF
適用レコード数 10,000 🚽
OK キャンセル 既定値

図 21-10 マスクレイヤの設定項目

21.6. 暦表示レイヤ

21.6.1. 表示画面

tmm ファイルの t2map.layertype の CONTENT 又は、gts、gtm ファイルの layerType 要素の内容が、「TimeChartLayer」に設定されているデータセットが『図 21-11 時間軸表示レイヤ』として表示されます。レコードのプロットは時間幅を持たず、1本の線で表示されます。レコードのタイトルが目盛の上に表示されます。タイトルをクリックすると当該レコードの詳細が表示されます。隣接するタイトルが重なる場合はタイトルを表示しません。タイトルを表示しない目盛は赤色で表示します。

HuTime : C:¥4tools-installer	-etc¥eclipse-jee-europa-fall2-win32¥eclipse¥projects¥spacetime¥t2map01¥d 📼 💷 💻 🌉
ファイル 解析 ヘルブ	
全て選択 する しない ♥ ⁽¹⁾ New Project ♥ ● 地球 ♥ ● サンブル3	*地球 カンブリア紀 シルル紀 石炭紀 ペルム紀 ジュラ紀 白亜紀 サンブル3 オルドヴィス紀 石炭紀 三畳紀 白亜紀 カンブリア紀 デヴォン紀 ペルム紀 ジュラ紀
	Selected Range : -598055556-06-12 ~ -93055556-06-12 98055556 -93055556 3700000000 -500000 € 0000000 ► Utz > F € 500000 ►

図 21-11 時間軸表示レイヤ

21.6.2. 設定項目

暦表示レイヤの項目設定は『図 21-12 暦表示レイヤの設定項目』のように表示されます。設定項目と して「主目盛棒の色」「副目盛の色」「簡易表示」「簡易表示レコード数」などを設定できます。色の変更は 色選択ダイアログで行えます。簡易表示をオンにすると、簡易表示レコード数以上のレコードは間引かれ て表示されます。

簡易表示をオンにすると、簡易表示レコード数以上のときに、表示する目盛の間隔を広く(5px広く)して 表示します。

🛃 設定画面 📃 🗾 🗾
-
フォント
名前 Dialog
サイズ 12 🖶 pt スタイル プレーン 🔻
スケールメイン
色 💻
スケールサブ
è 💻
省累
è 📃
簡易表示
ON OFF
適用レコード数 10,000 ᆕ
OK キャンセル 既定値

図 21-12 暦表示レイヤの設定項目

21.7. 暦表示(幅あり)レイヤ

TMM ファイルの t2map.layertype の CONTENT 又は、gts、gtm ファイルの layerType 要素の内容 が、「TimeChartLayer2」に設定されているデータセットが『図 21-11 時間軸表示レイヤ』として表示さ れます。レコードのプロットは時間幅を持ち、複数のレコードを一直線上に表示します。レコードのタイトル はレコードプロットの下に表示されます。レコードプロットをクリックすると当該レコードの詳細が表示されま す。

レコードにグループが指定してある場合は、表示設定によってグループごとに色分けしてレコードを表示することができます。



21.7.1. 表示画面

図 21-13 歴表示(幅あり)

21.7.2. 設定項目

暦レイヤの項目設定は『図 21-14 暦レイヤの設定項目』のように表示されます。設定項目として「プロットの色」「プロット枠線の色」「簡易表示」「簡易表示レコード数」などを設定できます。色の変更は色選択 ダイアログで行えます。簡易表示をオンにすると、簡易表示レコード数以上のレコードは間引かれて表示 されます。

簡易表示をオンにすると、簡易表示レコード数以上のときに、イベント幅が1px以下のレコードは間引かれて表示されます。

詳細画面フォントの設定でプロットをクリックしたときに表示される詳細画面(ダイアログ)中の文字列のフ ォントを指定できます。

グループ名の表示設定でグループの名称をレイヤ上への表示を ON/OFF できます。

設定画面
- グループ1
プロット
色 枠線の色
フォント
名前 MS ゴシック 🔹 色 💻
サイズ 12 🖶 pt スタイル プレーン 💌
レコードハイライト
色 💻

名前 Dialog ▼
クリープ名の表示
◎ 表示する 💿 表示しない
簡易表示
ON OFF
適用レコード数 100,000 💭
OK キャンセル 既定値

図 21-14 暦レイヤの設定項目



22.1. データ検索

『図 22-1 データ検索の選択』のように、メニューバーの「解析」→「データ検索…」を選択することで実 行できます。

ファイル 解れ	断 ヘルプ
全て選択	データ検索
	マスクの論理演算
	時間軸計測
····· 🔽	

図 22-1 データ検索の選択

22.1.1. 検索条件の指定

『図 22-2 詳細検索用ダイアログ』が表示され、検索条件および表示オプションを選択します。

検索条件入力	
検索条件	
レイヤ選択:	河口県 富寧県(文山州) 馬関県(文山州)
空間範囲:	緯度(1)経度(1)緯度(2)経度(2) 1 90.0 -180.0 -90.0 180.0 2
時間範囲:	- 1801-01-01 - 1996-12-31 +
文字列:	all 🔻 AND
文字列:	all
文字列:	
∼表示オブション	
◎ ハイライト	 ●新規レイヤ 年表 ●マスク
	検索実行 キャンセル

図 22-2 詳細検索用ダイアログ

検索条件

検索条件は、『表 22-1 検索条件』の通りです。

表 22-1 検索条件

項番	項目	説明				
1	レイヤ選択	検索対象となるレイヤを指定(複数選択可)。レイヤ内にグループがある場合は				
		グループごとに選択可能。				
2	空間範囲	検索する空間範囲を指定。(緯度:-90~90、経度:-180~180)				
		空間範囲は矩形の始点/終点を入力するものとし、どちらか一方が入力された				
		場合は点として検索する。				
3	時間範囲	検索する時間範囲を指定(yyyy-mm-dd 形式)				
		+をクリックすることで複数の時間範囲を指定することが可能。				
4	検索条件	検索対象となるイベント情報名称(プルダウン)と検索語(テキストボックス)を指				
		定。				
		検索対象を "all" と指定した場合は、全ての項目に対して検索を行う。				
		検索語は " " で区切ることで複数指定可能。(OR 接続)				
		『図 22-3 検索条件の入力』参照。				
		文子列: all AND AND AND AND				
		文字列: detail AND AND Inumber				
		文字列: tttle url				
		図 22-3 検索条件の入力				
		検索対象に"number"が指定された場合は、数値検索を行う				
		『図 22-4 検索条件の入力(数値検索)』参照。				
		文字列: number V = V AND				
		文字列: all AND				
		文字列: all ≧				
		+ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
		図 22-4 検索条件の入力(数値検索)				

表示オプション

表示オプションは『表 22-2 表示オプション』及び『図 22-5 表示オプション』の通りです。

表 22-2 表示オプション

項番	項目		説明
1	ハイライト		検索に該当したレコードの表示色を変更して再描画
2	新規レイヤ –		検索結果を新たなレイヤとして描画
			新規作成するレイヤのタイプをプルダウンより選択
3		マスク	検索結果をマスクレイヤとして描画
			「新規レイヤ」選択時のみ有効
4		年表	検索結果を年表レイヤとして描画
5		暦	検索結果を暦表示レイヤとして描画
6		暦2	検索結果を暦表示(幅あり)レイヤとして描画
7		棒グラフ	検索結果を棒グラフレイヤとして描画
8		点グラフ	検索結果を点グラフレイヤとして描画
9		線グラフ	検索結果を線グラフレイヤとして描画



図 22-5 表示オプション

22.1.2. 検索結果

ハイライトによる検索結果の表示

検索対象となるレイヤ及び各検索条件を指定し、表示オプションを「ハイライト」として「検索」ボタンをクリックします。

検索結果は、『図 22-6 検索結果(ハイライト)』のように、既存のレイヤに対してレコード色を変更(赤 色)して表示されます。



図 22-6 検索結果(ハイライト)

新規レイヤ(およびマスク)による検索結果の表示

検索対象となるレイヤ及び各検索条件を指定し、表示オプションを「新規レイヤ」(必要に応じて「マスク」 も選択)として「検索」ボタンをクリックします。

検索結果は『図 22-7 検索結果(新規レイヤ+マスク)』のように、新規レイヤとして表示されます。



図 22-7 検索結果(新規レイヤ+マスク)

23. マスク操作

23.1. 2つのマスクの論理演算

23.1.1. マスク解析項目の選択

『図 23-1 マスク解析の選択(マスクの論理演算)』のように、マスク解析実施は、メニューバーの「解析」 →「マスクの論理演算…」を選択します。



図 23-1 マスク解析の選択(マスクの論理演算)

23.1.2. マスク解析条件の選択

『図 23-2 マスク論理演算用ダイアログ』が表示され、マスク演算条件を選択します。

マスク論理演算 演算条件	1.000	×		
マスク1 検索結果(マスク生成:母子里年輪幅 > 1) 検索結果(マスク生成:泥川湿原年輪幅 ≧ 1)	AND 💌	マスク2 検索結果(マスク生成:母子里年輪幅 > 1) 検索結果(マスク生成:泥川湿原年輪幅 ≧ 1)		
実行 キャンセル				

図 23-2 マスク論理演算用ダイアログ

ダイアログに関する説明は、『表 23-1 ダイアログの説明』を参照して下さい。

表 23-1 ダイアログの説明

項番	項目			
1	マスク1・2	演算対象となるレイヤを指定		
		NOT(否定)演算を行う場合はマスク1のみを指定		
2	論理演算子	「AND(論理積)/OR(論理和)/NOT(否定)」より論理演算子を指		
		定		

23.1.3. 解析結果

対象となるマスク及び論理演算子を指定して「実行」ボタンをクリックすることで、『図 23-3 解析結果 (論理演算によるマスク生成)』のように、生成されたレイヤが表示されます。



図 23-3 解析結果(論理演算によるマスク生成)

23.2. マスクによるレコード抽出

23.2.1. マスク解析項目の選択

マスク解析実施は、『図 23-4 マスク解析の選択(マスクによるレコード抽出)』のように、メニューバーの 「解析」→「マスクによるレコード抽出…」を選択します。



図 23-4 マスク解析の選択(マスクによるレコード抽出)

23.2.2. マスク解析条件の選択

『図 23-5 マスクレコード抽出用ダイアログ』が表示され、レコード抽出条件を選択します。

マスクを使ったレコード抽出		x		
抽出条件 レコード	マスク			
サンブル1(グルーブ1) サンブル1 サンプル1(グループ2) サンブル3 天皇 将軍 ≰n歴 部分的にマスクにか	 検索結果(マスク生成:サンブル1 (▼ ▼ ■ ■<!--</th--><th>(グルー:</th>	(グルー:		
実行 キャンセル				

図 23-5 マスクレコード抽出用ダイアログ

ダイアログに関する説明は、『表 23-2 ダイアログの説明』を参照して下さい。

表 23-2 ダイアログの説明

項番	項目	説明
1	レコード	抽出対象となるレコードを選択。レイヤ内にグループがある場合はグループごと
		に選択可能。
2	マスク	抽出に使用するマスクを選択
3	抽出条件	マスクの時間範囲に包含されるレコードのみを抽出する場合は「含めない」を選
		択、マスクの時間範囲と交差する全てのレコードを抽出する場合は「含める」を選
		択

23.2.3. 解析結果

対象となるマスクとレコードを指定して「実行」ボタンをクリックすることで、『図 23-6 解析結果(マスクに よるレコード抽出)』のように、抽出されたレイヤが表示されます。



図 23-6 解析結果(マスクによるレコード抽出)

24. 印刷/画像エクスポート

24.1. 印刷の選択

印刷/画像出力実施は、『図 24-1 印刷/画像出力の選択』のように、メニューバーの「ファイル」→「印刷…」を選択します。

ファ	イル 解析 ヘルプ		
	新規作成	•]	
	ワークスペースを開く	H	1.7
	保存		1.5
	名前を付けて保存…		1.3
	開く	•	1.1
	インポート	•	0.9
	画像エクスポート…		
	印刷		<u> </u>
	設定		14
	終了		1.3

図 24-1 印刷/画像出力の選択

24.2. 印刷出力条件の選択

『図 24-2 印刷/画像出力用ダイアログ』が表示され、出力条件および出力先を選択します。

印刷出力設定					
出力条件					
レイヤ選択:	サンブル1 サンブル2 サンブル3				
時間範囲:	1651-01-01 ~ 1999-12-31				
時間目盛出力:	◎する : ◉ しない				
横幅:	730 📩 ピクセル				
出力 プレビュー キャンセル					

図 24-2 印刷/画像出力用ダイアログ
ダイアログに関する説明は、『表 24-1 ダイアログの説明』を参照して下さい。

表 24-1 ダイアログの説明

項番	項目	説明
1	レイヤ選択	出力対象となるレイヤを指定(複数選択可)
2	時間範囲	出力する時間範囲を指定(yyyy-mm-dd 形式)
3	時間目盛出力	各レイヤ下段に時間目盛を描画するかを指定
4	横幅	出力する画像の横幅を指定(単位はピクセル)

24.2.1. プリンタへの出力

プリンタへの出力は、『図 24-3 プリンタへの出力』のように、「出力」ボタンをクリックします。

印刷出力設定	ſ
出力条件]
サンブル1 サンブル2 サンブル3	
時間範囲: 1651-01-01 ~ 1999-12-31	
時間目盛出力: 🔘 する 💿 しない	
横幅: 730 🚔 ピクセル	
出力 ブレビュー キャンセル	

図 24-3 プリンタへの出力

『図 24-4 印刷用ダイアログ』が表示されますので、印刷条件を指定して「印刷」ボタンをクリックしま す。

印刷	x
一般(©) ページ設定(S) 外観(A)	
印刷サービス	
名前(N): Canon LBP-2810 LIPS4	▼ プロパティ(R)
状態: ジョブを受け付けています。	
タイプ:	
青幸服:	🔲 ファイルに出力(E)
白刷範囲	EDGNIAB
 すべて(L) 	印刷启路数(0): 1 🚖
○ページ(E) 1 印刷範囲 1	√ 丁合い(C)
	印刷取消し

図 24-4 印刷用ダイアログ

24.3. 画像エクスポートの選択

画像エクスポート実施は、『図 24-5 画像エクスポートの選択』のように、メニューバーの「ファイル」→ 「画像エクスポート…」を選択します。

ファ	イル 解析 ヘルプ	
	新規作成	• 1
	ワークスペースを開く	H
	保存	
	名前を付けて保存…	
	開く	•
	インポート	
	画像エクスポート…	
	60扇)	
	設定	
	終了	

図 24-5 画像エクスポートの選択

24.4. 画像エクスポート

24.4.1. クリップボードへの出力

『図 24-6 クリップボードへの出力』を選択し、「出力」ボタンをクリックします。

画像出力設定	
出力条件	
レイヤ選択:	サンプル1 サンプル2 サンプル3
時間範囲:	1651-01-01 ~ 1999-12-31
時間目盛出力:	◎する ◉しない
出力先:	● クリップボート ◎ ファイル jpg マ
横幅:	730 🛫 ビクセル
	カ プレビュー キャンセル

図 24-6 クリップボードへの出力

24.4.2. ファイルへの出力

『図 24-7 ファイルへの出力』から、出力先項目の「ファイル」を選択し、出力するファイル形式を 「JPEG/PNG/GIF/BMP/EMF(拡張メタフォーマット)」から選び、「出力」ボタンをクリックします。

画像出力設定	
出力条件	
レイヤ選択:	サンプル1 サンプル2 サンプル3
時間範囲:	1651-01-01 ~ 1999-12-31
時間目盛出力:	○する ● しない
出力先:	○ クリップボード
横幅:	730 € ピクセル png
	gif カ プレビュー キャンty ^{bmp} emf

図 24-7 ファイルへの出力

『図 24-8 ファイル名の指定』ダイアログから出力先とファイル名称を指定して、「保存」ボタンをクリック します。

🔇 保存		<u> </u>
保存:	🌗 sample3 💿 🥬 🛤 📰	
最近使った項 目		
デスクトップ	ファイル名: ファイル名: ファイルタイプ: UP50 ファイル (#存) 取当し	$\mathbf{\hat{\mathbf{b}}}$
ドキュメント		

図 24-8 ファイル名の指定

24.5. 画像プレビュー

『図 24-7 ファイルへの出力』で「プレビュー」ボタンをクリックすると、画像プレビュー用ダイアログが表示され出力画像の確認が行えます。



図 24-9 画像プレビュー用ダイアログ

25. データインポート

25.1. CSV データ

25.1.1. 起動

『図 25-1 CSV データ読込みの開始方法』のように、「ファイル」-「インポート」-「レイヤ…」を選択し、表示されたダイアログボックス『図 25-2 インポートのファイルダイアログ』でファイルタイプ「csv」を選択してインポートしたい CSV ファイルを選択します。『図 25-1 CSV データ読込みの開始方法』を参照してください。



図 25-1 CSV データ読込みの開始方法

◆ 開<	11 1 1 1 1 1 1 1 1	
参照:	\mu data	- 😥 📖 📰
最近使った項目 「アスクトップ デスクトップ マイイドキュ メント し コンビュー ター	J gts J multi-layer-nenrin J sample J sample2	データセット名: 新規データセット 表示レイヤタイブ: 年表 ▼ 文字コード: SHIFT_JIS ▼
	ファイル名:	開く
ネットワーク 🤇	ファイルタイプ: csv	取消し

図 25-2 インポートのファイルダイアログ

インポートしたい CSV ファイル、データセット名、表示レイヤタイプ及び文字コードを設定します。

レイヤをインポートするダイアログボックスを表示する方法は、他にもプロジェクト名を右クリックして「インポート」-「レイヤ…」を選択しても行えます。『図 25-3 CSV データ読込みの開始方法2』を参照してください。

ファイル 解析 ヘルプ		
全て選択しするしない	ヽ ・ サンプル1	
□ 🔽 퉲 レイヤーサンプ	名前変更	
	プロジェクト全体を表示	
····· 🕅 🚉 9 / 2003	新規作成	
	開く	
	インボート	・ レイヤ
	保存	
	名前を付けて保存…	
	エクスポート	• • •
	1 ¹⁴ 0	

図 25-3 CSV データ読込みの開始方法2

25.1.2. データセット名

データセットのタイトルに該当します。 デフォルトでは「新規データセット」と表示されます。

25.1.3. 表示レイヤタイプ

読込んだ CSV ファイルを表示するレイヤのタイプを選択します。

25.1.4. 文字コード

「SHIFT_JIS」、「UTF-8」のいずれかを選択します。

25.1.5. 読み込み

インポートしたい CSV ファイルを選択し、マウスにて開くボタンをクリックすると、読み込みが開始されます。

『図 25-4 新規データセットとして読み込み』のように、既に読込んでいるプロジェクトが存在する場合 は、ルートのプロジェクトの一番下にデータセットとして追加されます。

HuTime : C:¥4tools-installer-	etc¥eclipse-jee-europa-fall2-	win32¥eclipse¥projects¥spacetime	¢t2map01
ファイル 解析 ヘルプ			
全て選択 する しない 全て選択 する しない ■ ダ ● レイヤーサンブル ■ ダ ● サンブル1 ■ ダ ● サンブル2 ■ サンブル3 ▼ ● 新規データセット	新規データセット 「JANESISS JJANESISS JJANESISS		
	Selected Range : 1651-01 1651 1680 1720 1 1651 1680 1720 1 1651 16	91 - 1999-12-31 1760 1800 1840 1880 760 1800 1840 1880 リセット	1920 1960 1999 1920 1960 19 1920 1960 19 1999 •

図 25-4 新規データセットとして読み込み

プロジェクトが読込まれていない状態で読み込みを実行すると、『図 25-5 新規プロジェクトとして読み 込み』のように、新しいプロジェクトが作製されてレコードがインポートされます。

HuTime : C:¥4tools-installer-e	etc¥eclipse-jee-europa-fall2-win32¥eclipse¥projects¥spacetime¥t2map0	
ファイル 解析 ヘルブ		
全て選択するしない	新規データセット	^
- V New Project		
□ 🖉 ● 新規データセット		
		山丞
		<i></i>
	地方の悪人である廖子	
	里が区に改称され、全	
	Selected Range : 1914-01-01 ~ 1987-01-27	
	1914 1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980	1987
	1 14 1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980	197
	 ▲ 1914 ▶ リセット ▲ 1987 	



25.1.6. エラーチェック

下記に該当するレコードはエラーとなり、レイヤに表示されません。

カラム名の数と、レコードのデータ数が違う場合 開始日時が入力されていない場合 開始日時のフォーマットが違う場合 終了日時が入力されていない場合

終了日時のフォーマットが違う場合

下記に該当するデータは警告として報告されます。(レコードはレイヤに表示されます。)

緯度に数値、-(マイナス)及び.(カンマ)以外の文字が入力されている場合 緯度の数値が-90から90の範囲内に無い場合 経度の値はあるが、緯度の値が入力されていない場合 経度に数値、-(マイナス)及び.(カンマ)以外の文字が入力されている場合 経度の数値が-180から180の範囲内に無い場合 緯度の値はあるが、経度の値が入力されていない場合 カラム名が number の時、数値、-(マイナス)及び.(カンマ)以外の文字が入力されている場合

25.2. KML データ

『図 25-6 機能の実行』のように、「ファイル」-「インポート」-「レイア…」を選択することによって表示される、『図 25-7 ファイル選択ダイアログ』でファイルタイプ「kml」を選択し、インポートしたい KML ファイルを選択します。



図 25-6 機能の実行

● 開<	11 1 1 1 1 1 1 1 1	×
参照:	\mu data 🗸	🤌 🖽 📰
最近使った項 日	gts multi-layer-nenrin sample sample2 qis data.kml	
デスクトップ		データセット名: 新規データセット
マイ ドキュ メント		表示レイヤタイプ: 年表 ▼
レビュー ター		
	ファイル名:	開く
^{ネットワーク} く	ファイルタイプ: kml	・ 取消し

図 25-7 ファイル選択ダイアログ

既に読込んでいるプロジェクトが存在する場合は、ルートのプロジェクトの一番下にデータセットとして追 加されます。

プロジェクトが読込まれていない状態で読み込みを実行すると、新しいプロジェクトが作製されてレコードがインポートされます。

レイヤをインポートするダイアログボックスを表示する方法は、他にもプロジェクト名を右クリックして「インポート」-「レイヤ...」を選択しても行えます。『図 25-8 機能の実行2』を参照してください。



25.3. エラー通知

データインポート中に検出された「必須項目がない」、「データ形式の不整合」などのデータの不具合は、 エラーダイアログによって通知されます。

インポートが完了した後に不具合があった場合は、不具合の件数が『図 25-9 ファイル入力エラーダイ アログ』に表示されます。

シファイル入力エラー	×
5件の致命的なエラーがありました(レコー 1件の警告がありました(レコードとして読	ドとして読込みませんでした)。 込みました)。
詳細をファイルに保存	詳細を表示 閉じる

図 25-9 ファイル入力エラーダイアログ

ファイル入力エラーダイアログで「詳細をファイルに保存」ボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが表示されて任意のファイルにエラーの詳細な内容を保存できます。「詳細を表示」ボタンをクリックすると、 『図 25-10 ファイル入力エラー詳細ダイアログ』が表示されます。

警告:5行目のnumber属性(7カラム目)の値が数値でありません。
致命的:6行目のカラム数がヘッダーのカラム数と一致しません。
致命的:11行目の終了日時(3カラム目)のデータ形式(ISO8601)が不正です。
致命的:13行目のカラム数がヘッダーのカラム数と一致しません。
致命的:14行目のカラム数がヘッダーのカラム数と一致しません。
致命的:16行目のカラム数がヘッダーのカラム数と一致しません。
詳細をファイルに保存 閉じる

図 25-10 ファイル入力エラー詳細ダイアログ

ファイル入力エラー詳細ダイアログで、「詳細をファイルに保存」ボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが表示されて任意のファイルにエラーの詳細な内容を保存できます。

26. CSV ファイルフォーマット

26.1. カラム名について

1カラム目から5カラム目までは、カラムの順序で値の内容を判断するのでカラム名は任意の値とします。

6カラム目以降は、各レコードの ITEM 要素の値とします。

『表 26-1 CSV ファイルの形式』に1カラム目から5カラム目までの説明を記述します。

表 26-1 CSV ファイルの形式

カラム数	内容	備考
1	ID	このカラムで一意に判別可能な値
2	開始日時	このレコードの開始時間(時間軸表示用)
3	終了日時	このレコードの終了時間(時間軸表示用)
4	緯度	このレコードの緯度(地図表示用)
5	経度	このレコードの経度(地図表示用)

26.2. 各レコードについて

6カラム目以降のデータで、groupという名前のカラムは、レコードのグループ名として扱われます。それ 以外は、ITEM 要素の値とするので title という名前のカラムの値は年表表示した場合にレコードのタイト ルとして年表上に表示され、number という名前のカラムの値は数値として扱われます。『図 26-1 CSV ファイルの入力例』参照。



図 26-1 CSV ファイルの入力例

27. KML データフォーマット

KML データの入出力は以下の KML の要素および属性に対応し、レコードデータの各要素及び属性に マッピングされます。

表 27-1 対応する KML データの要素及び属性とそれらのレコードデータとの関係

KML		GTデータ	補足
kml		records	KMLのインポートでGTMはCSVを読み込んだときと同じように
			既定のものを利用する。
Document			
Style			KMLのエクスポートでStyle要素の内容は
@id	polygonStyle又はpo	intStyle	「時空間情報ダウンロードファイル(KML)構造:xls」に
LineStyle			記述されている内容に従う。
color	固定值:770000ff		
width	固定値:0.1		polygonStyleとpointStyleの判定は
			location要素以下のpoint要素の数で行い、
PolyStyle			point要素が1つの場合はpointStyle、複数の場合はpolygonStyleとする。
color	固定値:ff0000cc		
IconStyle			
scale	固定11:1.3		
lcon			
nret	固定道:nttp://map	s.googie.com/ mapriles/ kmi/ pushpin/ 	yiw-pushpin.png
Placemark	*	mcord *	
T labemark		event	
name		item name="title"	
atomilink	2		
Øhref		item name="url"	
description		item name="detail"	
styleUrl			
Point	?	location	
coordinate	es	point	緯度経度⇔UTMを行う
		zone	
		×	
		У	
Polygon	?	location	
outerBour	ndaryls		KMLのインホート(coordinates罢素内の標高情報は破棄される。
Linearh	ling		» · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1000	dinates	point +	coordinates妥素内に仅行し空日又子(ア区切り)で後数の解度栓度が コンギナねるのあるねず複数のレール、西東にカービンダナる
-		zone	記述されるのじてれを複数のiocation安楽にマッヒングする。
-		X	
-		y	
MultiGeomet	rv 2		
以下に複ジ	., 数のPnint要表 Pnlvo	' mn要素を記述できる	Point要素又はPolygon要素数分の
1 2010-123	on on the state of the		位置情報以外は同じ内容のrecord要素に変換する。
1			
TimeSpan	?	datetime	
begin		from	
end		to	
1			

28. レコードデータフォーマット

レコードデータに関する説明を以下に記述します。

表 28-1 レコードデータに記述する値の説明

· · · - · · · · · · · · · · · · · · · ·	繰返	
records要素		ルート要素
record要素	+	
group属性		レコードの属するグループ名を記述します。任意指定です。レコードのグループ分けに対応したレイヤでのみ有効。
id属性		
minVisibleTResolution属性		レコード表示する最小の表示時間幅を記述します。記述する値は下記を参照してください。
maxVisibleTResolution属性		レコード表示する最大の表示時間幅を記述します。記述する値は下記を参照してください。
datetime要素		
from要素		
endpoint属性		open closeのいずれかの値を記述する。openの場合は端点を開して扱う。closeの場合は閉として扱う。
textノード		開始日時をYYYY-MM-DDThh:mm:ss.sssZoneの形式で記述する。
to要素		
endpoint属性		open closeのいずれかの値を記述する。openの場合は端点を開して扱う。closeの場合は開として扱う。
textノード		終了日時をYYYY-MM-DDThh:mm:ss.sssZoneの形式で記述する。
location要素		
point要素	+	
zone要素		
textノード		GTMのzoneの値を記述する。
x要素		
textノード		GTMの×座標の値を記述する。
y要素		
textノード		GTMのy座標の値を記述する。
event要素		
item要素	+	
name属性		項目の名前を記述する。ここにnumberと記述すると数値データとして扱われる。
textノード		項目の内容を記述する。name属性がnumberの場合は数値を記述する。

minVisibleTResolution 属性及び maxVisibleTResolution 属性に記述できる値とその値が示す時間 範囲を『表 28-2 minVisibleTResolution 属性及び maxVisibleTResolution 属性の値』に示す。

表 28-2 minVisibleTResolution 属性及び maxVisibleTResolution 属性の値

記述する値	時間範囲(日)
0.000001second	1/(24*60*60*1000000)
0.00001second	1/(24*60*60*100000)
0.0001second	1/(24*60*60*10000)
0.001second	1/(24*60*60*1000)
0.01second	1/(24*60*60*100)
0.1second	1/(24*60*60*10)
second	1/(24*60*60)
minute	1/(24*60)
hour	1/24
day	1
week	7

month	31
quarter	92
year	365
10year	3650
100year	36500
1000year	365000
10000year	3650000
100000year	36500000
1000000year	365000000
数値(1, 2, 10, 1.2, 2.002 等)	1を1日として値をそのまま利用
指数表記(2E02)	1を1日として値をそのまま利用

※指定できる値の範囲は 0.000001second (1/(24*60*60*1000000))から 1000000year (365000000)とする。

29. 付録

29.1. Linux 上の Java の言語環境設定

Linux 上で日本語フォントを使用して Swing を実行する為の設定

29.1.1. truetype フォントの検索

root# locate .ttf

29.1.2. シンボリックリンクの作成

root# mkdir \$JAVA_HOME/jre/lib/fonts/fallback root# cd \$JAVA_HOME/jre/lib/fonts/fallback root# ln -s /usr/X11R6/lib/X11/fonts/truetype/sazanami-gothic.ttf ./

Ver 2.0.11

29.2. GTM ファイルの metada 要素の内容とメタデータ表示での出力

gtm ファイル

metadata 要素の内容

値のタイプ	百日夕	値	/# *	例	
	項日石		順右	データ	出力
テキストのみ	出力しない	出力しない		hoge	出力なし
xsd:sympleType (xhtml 以外の要素)	要素名	要素の内容		<dc:title about="http://aaa" piyo="42"> hoge </dc:title>	•dc:title) hoge
xsd:sympleType (xhtml の要素)	要素名	要素の内容		<h1>hoge</h1>	•h1) hoge
xsd:sympleType (冒頭が [″] http://または https [″])	要素名	要素の内容		<dc:title>http://www/hutime.jp</dc:title>	•dc:title) <u>http://www/hutime.jp</u>
xsd:complexType (xhtml 以外の要素)	最上位の要素名	各要素の内容 テキストのみで、タグは出力 しない (Web ブラウザでの未知の要 素名への対応と同じ)		<dc:title about="http://aaa" piyo="42"> <fuga hogera="123">hoge</fuga> <hogehoge>piyopiyo</hogehoge> </dc:title>	•dc:title) hogepiyopiyo

Ver 2.0.11

xsd:complexType (xhtml の要素)	最上位の要素名	各要素の内容 テキストのみで、タグは出力 しない (Web ブラウザでの未知の要 素名への対応と同じ)	<dc:title about="http://aaa" piyo="42"> <h1>hoge</h1> piyopiyo </dc:title>	•dc:title) hogepiyopiyo
CDATA(要素に入ってい ない場合)	出力しない	出力しない	 <fuga hogera=″123″>hoge</fuga> 	出力なし
CDATA(要素に入ってい る場合)	最上位の要素名	CDATA のの内容 ◇は< ≶ でエスケープ し、子要素全体(タグも含め て)を出力	<dc:title about="http://aaa" fuga="42"> <![CDATA[<fuga hogera="123">hoge</fuga>]]> </dc:title>	•dc:title) <fuga hogera=″123″>hoge</fuga

29.3. レコード XML の item 要素の内容と詳細表示での出力

データ xml ファイル item 要素の内容

値のタイプ	項目名	値	備考	例	
				データ	出力
テキストのみ it	item@name 要素の内容としての ⁻		未定義の属性	<item name="piyo" property="dc:title"></item>	
		要素の内容としてのテキスト	(property)は無視	hoge	•piyo) hoge
			される		

Ver 2.0.11

テキストのみ				<item name="piyo" property="dc:title"></item>	
(冒頭が"http://"または	item@name	リンクとして URL を表示		http://www.hutime.jp	•piyo) <u>http://www/hutime.jp</u>
"https")					
		各要素の内容			
		テキストのみで、タグは出力		<item name="piyo" property="dc:title"></item>	
xsd:symple i ype	item@name	しない		<fuga hogera="″123″">hoge</fuga>	•piyo) hoge
(xhtml 以外の安系)		(Web ブラウザでの未知の要			
		素名への対応と同じ)			
		各要素の内容			
··· ··· · ··· ··· ··· ··· ··· ······		テキストのみで、タグは出力		<item name="piyo" property="dc:title"></item>	
xsd:symple i ype	item@name	しない		<h1>hoge</h1>	•piyo) hoge
(xhtmi の安系)		(Web ブラウザでの未知の要			
		素名への対応と同じ)			
		各要素の内容		<item name="piyo" property="dc:title"></item>	
vadaomployTypo	item@name	テキストのみで、タグは出力		<fuga hogera="″123″"></fuga>	
XSQ:complex i ype		しない		<hogehoge>hoge</hogehoge>	•piyo) hoge
(Xhtmi 以外の安永)		(Web ブラウザでの未知の要			
		素名への対応と同じ)			
		各要素の内容		<item name="piyo" property="dc:title"></item>	
		テキストのみで、タグは出力		<h1></h1>	
xsd:complexType (xhtml の要素)	item@name	しない (Web ブラウザでの未知の要 素名への対応と同じ)	<hogehoge>hoge</hogehoge>	• pivo) hogepivopivo	
				piyopiyo	

Ver 2.0.11

CDATA (xhtml 以外の要素)	item@name	CDATA の内容をそのまま出 カ ◇は< ≶ でエスケープ し、子要素全体(タグも含め て)を出力	<item name="piyo" property="dc:title"> <![CDATA[<fuga hogera="123"> <hogehoge>hoge</hogehoge> </fuga>]]> </item>	•piyo) <fuga hogera="″123″"> <hogehoge>hoge</hogehoge></fuga>
CDATA (xhtml の要素)	item@name	CDATA の内容をそのまま出 カ ◇は< ≶: でエスケープ し、子要素全体(タグも含め て)を出力	<item name="piyo" property="dc:title"> <![CDATA[<h1> <h0gehoge>hoge</hogehoge> </h1>]]> </item>	•piyo) <h1> <hogehoge>hoge</hogehoge></h1>